

官報

號外

明治三十三年二月十四日

水曜日

印刷局

○第十四回 衆議院議事速記録第二十五號

明治三十三年二月十三日(火曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二十四號 明治三十三年二月十三日

午後一時開議

- | | | |
|------|-------------------------|---------------|
| 第一 | 鐵道國有法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第三 | 私設鐵道買收法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第五 | 漁業法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第七 | 蠶種検査法改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第八 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第九 | 農工銀行法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十一 | 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十二 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十三 | 行政執行法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十四 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十五 | 治安警察法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十六 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十七 | 精神病者監護法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十八 | 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十九 | 鐵道營業法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第二十 | 私設鐵道法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第二十一 | 私設鐵道條例中改正法律案(田口卯三提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第二十二 | 印紙稅法中改正法律案(星松三郎外八名提出) | 第一讀會 |
| 第二十三 | 市制町村制中改正法律案(堀家虎造外二名提出) | 第一讀會 |
| 第二十四 | 府縣農事試驗場國庫補助法中改正法律案(稻垣出) | 第一讀會 |
| 第二十五 | 刑法中改正法律案(安藤龜太郎外三名提出) | 第一讀會 |

第二十六 沖繩縣土地整理法中改正法律案 (永田佐太郎外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十七 製鋼事業獎勵ニ關スル建議案(堀田運太郎外二名提出) (委員長報告)

第二十八 美術獎勵ニ關スル建議案(根本正外一名提出) (委員長報告)

第二十九 臨時帝國議事堂建物中舊御便殿保存費國庫補助ニ關スル建議案(根本正外一名提出) (委員長報告)

第三十 水產銀行設置並漁業避難港築港國庫補助ニ關スル建議案(恒松隆慶外五名提出) (委員長報告)

第三十一 伊豆國神津島漁港修築費之國庫補助ニ關スル建議案(高木正年外一名提出) (委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ニ先立チマシテ、昨日本院ノ決議ヲ以テ皇太子殿下ニ賀表ヲ差上ゲルタメニ、葉山御殿ニ參ラレタル長谷場純孝君ガ今日歸ラレマシテ、茲ニ其報告ガアリマス、殿下ノコトデアリマスカラ、敬意ヲ表スルタメニ起立ヲシテ御報告ヲ受ケルコトニ致シマス——長谷場純孝君

(議員一同起立ス)

○長谷場純孝君(三十番) 昨日本院ノ決議ヲ具シマシテ、廣瀨書記官ト黒川守衛番長補ヲ隨ヘマシテ、三時二十五分新橋發ニテ葉山ヘ向ヒマスマシタ所カ、向フヘ六時過ニ著シマシテ、直チニ殿中ニ御模樣ヲ伺ヒマシタ所ガ、明日ノ午前八時ヨリ九時マデノ間ニ參殿セイト云フコトデゴザイマシタ、因テ昨晚ハ彼地ニ泊致シマシテ、今朝午前八時ニ參殿致シマシタ所ガ、黒川東宮武官長ガ出ラレマシテ、殿下ハ唯今御轉地御療養中、其他諸般ノ御都合ガアルニ依ッテ、拜謁ハ許サレナイト云フコトデゴザイマシタ故ニ、昨日決議ノ趣言上致シマシテ、議長ハ同時ニ宮中ニ參内致シマシタカラ、副議長ガ參殿致シテ答ゴザイマスケレドモ、先日來流行感冒ニ冒サレマシテ出院ハ致シテ居リマスケレドモ、未ダ全快ニ至リマヘスカラ御遠慮申上ゲテ、爲ニ議院ノ決議ヲ以テ、私ガ參向致シマシタト云フコトヲ述ベマシテ、本院ノ決議ニ所ノ賀狀ヲ呈シマシタ、暫ク致シマシテ武官長ガ出ラレマシテ、直チニ殿下ノ御前ニ御披露ヲ遂ゲタ所ガ、左ノ如キ御辭ヲ賜リマシタ、即チ衆議院議員等ノ敬意ヲ満足ニ思フ

斯ノ如キ御辭ガ御傳達ニナリマシタ、ウレヨリ九時四十五分發ノ汽車ニテ十一時三十分歸著致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

田中正造君ヨリ鎮毒ハ人ヲ殺シ當局諸大臣ハ其請願者ニ面會ヲ許ササル儀(書記朗讀)

ニ附キ質問書及鑛毒ノ天產ヲ亡滅スヘキ有形上ノ價額ニ附キ質問書ヲ提出セラレタリ
特別委員左ノ通指名セリ
法人ニ於テ租稅及葉烟草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律案外一案

演名

信平君 森東一郎君 齋藤安雄君
下飯坂權三郎君 熊代謙三郎君 山田武君
星野甚右衛門君 木村格之輔君 喜多川孝經君
賣藥印紙稅規則廢止法律案外一案

佐久間國三郎君 堀尾茂助君 朝倉親爲君
金岡又左衛門君 鈴木萬次郎君 佐藤伊助君
稻垣示君 高須賀纓君 齋藤卯八君
市制中改正法律案

鈴木總兵衛君 西村眞太郎君 新開貢君
岡田龍松君 廣住久道君 堀家虎造君
本城安次郎君 橫山富次郎君 松岡長康君
豫算ノ款項改正ニ關スル建議案

和波久十郎君 大三輪長兵衛君 武弘宜路君
工藤行幹君 濱口吉右衛門君 安川繁成君
栗原亮一君 新井章吾君 村野常右衛門君
大日本私立衛生會衛生事務講習所補助ニ關スル建議案

犬飼眞平君 大隈英麿君 初見八郎君
小栗貞雄君 本間直君 脇坂行三君
齋藤壽雄君 吉岡直一君 佐久間元三郎君
七尾港暗礁破砕ノ建議案外一案

村瀬庫次君 佐藤通代君 江角千代次郎君
淺野順平君 橋元島君 德差藤兵衛君
田中彦太郎君 岩瀬武司君 井手毛三君
石狩川治水ニ關スル建議案

佐藤里治君 加藤政之助君 神輿知常君
阿部典人君 藤野辰次郎君 恆松隆慶君
杉田定一君 土居平左衛門君 後藤文一郎君
(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

鑛毒ハ人ヲ殺シ當局諸大臣ハ其請願者ニ面會ヲ許ササル儀ニ付質問書右成規ニ據リ提出候也

明治三十三年二月十三日
提出者 田中正造 贊成者 原田赴城 外百十六名

鑛毒ハ人ヲ殺シ當局諸大臣ハ其請願者ニ面會ヲ許ササル儀ニ付質問主意書

鑛毒流出ノ根源ヲ停止セス其ノ下流ヲ清メヌ年々其ノ毒ヲ甚大ナラシメ當

局諸大臣ハ猶ホ之ヲ見サルカ如ク終ニ人ヲ殺シテ其悲慘ノ急ヲ訴フルニ當リ秩序アル請願人ニ對シ地方官之ヲ拒ミ大臣之ニ面會ヲ許ササル理由如何右及質問候也速ニ憲法上ノ責任ヲ持シ答辯アラントヲ望ム
鑛毒ノ爲メ天產ヲ亡滅スヘキ有形上ノ價格ニ付質問書
右成規ニ據リ提出候也

明治三十三年二月十三日
提出者 田中正造 贊成者 渡邊猶人 外百十七名

渡良瀬川沿岸ノ天產ハ太古ヨリ無比ノ豐饒ナリシヲ足尾銅山鑛毒ノタメ今ヤ將ニ舉テ之ヲ亡滅セシメトス而シテ尙將來鑛毒氾濫シ其毒域ノ土地及民屋凡四十年ノ後悉ク盡滅ストセハ己人及國家ノ名譽生命權利ヲ除ク外渾テ有形ニ屬スル己人及國家ノ損害ハ容易ニ計數シ得サルモ凡幾億萬ノ價額ニ至ルヘキカ現今ノ諸物價ニ參照シ至急事實ノ答辯アラントヲ望ム
右及質問候也

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御諮リ致スコトガアリマス、委員長安部井磐根君ヨリ、會計検査官懲戒法案外二件ノ委員會ヲ此際開キタイト云フコトデゴザイマスガ、許シテ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、請願委員長大三輪長兵衛君夫カラ請願委員ノ第三分科會ヲ開キタイト云フコトデアリマスカ、是モ許シテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、田中正造君

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、田中正造君

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、田中正造君

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、田中正造君

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、田中正造君

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、田中正造君

例ヲ以テ見ルト、一割弱ノ餘計ナ人ガ死シテ居ルト云フコトガ、此十一月五日ノマデノ調査ニ出マシタノデゴザイマスカラシテ、斯ノ如キ場合デアアルノニ秩序アル所ノ此請願書ヲ、地方官ガ是ヲ彼是ト拒シテ奥書スルトカシナイトカ、秩序ノ立ツタ法律ヲ遵奉シテ出テ居ル所ノ請願書ヲ地方官ガ之ヲ拒ム東京ヘ出テ参リマスレバ當局大臣ハ之ニ面會ヲ許サヌト云フテ、一方ニ於テハ鑛毒ハドシノ侵害シテ人ヲ殺スト云フノデス、ツレデハドウスルノデアアルカ、此間モ申シマスル通、イツツ打殺シテシマヘト云フコトヲ申シマシタルレドモ、唯單一ニ、唯單純ニ、サウ申シマシタノデハ政府ノ側デハ分リマスルカハ知リマセヌガ、遠方ノ此議員諸君ヤ、遠國ノ議員諸君ニハ、餘リ簡單ニ失シテ御分リニナラナカッタカモ知レナイト、後トデ氣ガ附キマシタ位デゴザイマス、兎ニ角政府及民間ノ人ト雖モ、此鑛毒事件ガ從來ノ如キ御考デ居ラレデハ困ルト云フコトヲ、一ツ諸君ニ吳レタ御訴ヘ申スノデゴザイマス從來ノ如キト云フモノハ、或ハ豫防工事ヲドウスルトカ、何トカ云フ講釋デアアル、二十餘年以來屢ノ豫防工事モ施シタ、一番終ヒノ豫防工事ハ九十万圓ノ金ヲ掛ケテ拵ヘタトカ、效能ガアル譯ダトカ何トカ云フヤウナ、從來ノ如キ頭ヲ以テ何處マデモ古イ時分ノ説ヲ固持シテ居テ、人ガ死ンデモ構ハナイト云フヤウナコトハ御免ヲ蒙ルノデアアル、例ヘバ政府ノ人モ今日在野ニ居ル人モ、始リカラ心懸ケテ惡ルイコトヲスルモノハ少イモノデアアル、十分骨ヲ折ツテ是デ宜イダラウト思ウテヤル、ツレデイカナイトキニハ、イカナイ方ノ手段ヲ取ツテ吳レナケレバ困ルノデゴザイマス、多クノ學者ガ寄ツテ拵ヘタモノダカラ、人ガ死ナウガ何ガ死ナウガ、前ノ仕事ガ立派ナモノデアルト云フヤウナ僻心ヲ以テ、人殺ヲナサレテハ迷惑ナ話デアアルデゴザイマスカラドウゾ是マデハドウ云フ御考デアリマシテモ、ドノヤウナ御考ガ完全ナ御考ガアツタカハ知リマセヌケレドモ、ドウモ其考ガ至ラザル所ガアツテ、遂ニ殺シタクモノイ多クノ人ヲ殺シタト云フ事實ガ出來タトキニハ、前ノコトハスツバリ改メテ新シク御考ヲ願ハナケレバナラナイノデアアル、僅ナ部分ヲ調べテ千人カラノ人ガ死ンダト云フトキニハ、政府ノ調べデハ何千人ニナツテ居ルカ、何千何百人ニナツテ居ルカ、特ニ是等ノコトニ付イテモ調査ガナケレバナラナイ筈、又世ノ中ニ公ニシナケレバナラヌ筈デアアルノデス、ドウカ此三十年ノ内閣調査會ニ關係シタ諸君モゴザイマセウシ、ツレハ憲政本黨ノ中杯ニハ澤山アルノデアアルガ、随分吾々ガ骨ヲ折ッタノデアアツテ、天下ノ學者ガ集ツテシタモノデアアルカラ、是ハ間違ガナイト威張ルハツレハ宜シイガ、人殺ガアツテハ迷惑ナ話デアアル、マサカ二人ヲ殺ス積デ御見込デアル御方ハナイノデアアル、人ヲ殺ス目的デ豫防工事ヲ施シタノデハナカラウ、至ラヌ所ガアツテ——智識ノ至ラヌ所ガアツテ、人ヲ殺スト云フコトニ今日ナツテ居ルノデアアレバ、吳レタ々々新シキ御考ヲ希望致スノデゴザイマス、一口ニ申シマスレバ目前ニ死人ヲ山ノ如ク積ンデ置イデ平凡ノ議論ヲサレチヤ困ルト云フ、斯ウ云フ話デアアル、ツレデ唯人ガ死ヌタ々ト申シマシテモ、何デゴザイマスカラ、一應此今日ノ質問書ノ鑛毒ノタメニ天產ヲ凶減スベキ有形上ノ價格ニ付イテノ質問ト云フノデ、私ノ見ル所ノ鑛毒ノ御披露申シマスルガ、本來是ヨリ諸君ガ御調査成シ下サレマス所ノ鑛毒ノ材料ニナラウカト存ジマシテ、素人ノ私ガ天產ト云フコトニ附イテ御話ヲ致ス、鑛毒ノ流レル川、即チ渡良瀬川附近ノ天產ト申スモノハ、

ヲ人間ガ見附ケテ之ヲ開クト云フトキハ、ドノ位良イ所デアツタカ、喫ベル
物ハ魚ヲ捕ッテ喫ベ切レナイ、畠ニ蒔ク豆ヤ麥ハ、肥料ガ要ラヌ、水ノアル
所ニ稻ヲ植ヘレバ肥料ヲ加ヘズシテ出來ル、傍ノ竹ヤ蘆ヲ取ッテ、家ガ坐ナ
ガラニシテ出來ル、働カズシテ天産力ニ依ッテ生活ノ出來ル、色々ノ天産力ニ
富テ居ル、近來ハ是ニ加フルニ中古以來ハ運輸ノ便開ケ、何カラデモ缺點ノナ
メ所ノ此川此川ヨリ生ズル所ノ天産ハ川ノ關係ニ依ッテ、其土地ノ良クナ
メ所ノ天産力ハ非常ナモノデアツテ、此土地ヲ見附ケテ以來、千年ニナルカ
或ハ千年以上ニナルカ、今日ノ富ヲ致シテ鑛毒騒ギノ前ノ富ヲ致シテ地
價——地面ノ地價ト云フモノモ、關東第一ノ高イ金位ヲ占メテ居ルノデ、斯
ウ云フ譯デゴザイマシテ、人口戸數ヲ以テ論ズレバ、成ル程能登國伯爵國
較ベルデゴザイマシテ、其土地ノ力ヲ以テ論ズレバ、今日能登國伯爵國
及ブ所デハナイノデゴザイマス、悉ク有租地——御年貢地良イ所良イ所ト
拾ッテ、鑛毒ガ這入ッテ行ク割合ニナッテ居ル、地面ノ低イ肥料ヲ置ク良イ
所ニ鑛毒ガ這入リマスカラ、此力ヲ以テ論ズレバ、能登國伯爵國ヨリ多イ所
ノ力ヲ占メテ居ルノデアリマス、唯遠方ノ人ガ其地面ヲ有ッテ居リマスカラ、
僅ノ小作人杯ガ住デ居リマスカラ、戸數モ少ウゴザイマスケレドモ、ソレデ
モ能登國伯爵國程ハアルノデゴザイマス、國家ト云フモノカラ見テモ、其
土地ノ價ヲ論ズレバ、決シテ能登國伯爵國所デハナイ、モット二ツ掛
モアル程ノ力ヲ有ッテ居ルノデゴザイマス、是ガ皆元ハ皆天産ニ依ルノデア
テ、其天産ヲ今日失ッタンデアル、其天産ヲ失ッタンデアル云フバカリデナクシテ、
之ニ加フルニ毒ヲ以テ天産ヲ失ハレタノデゴザイマスカラ、恰モ能ク渡良瀬
川ノ魚ガ死ヌト申スガ、魚ハ死ヌ前ニ瘡セルニ相違ナイデゴザイマスカラ、
渡良瀬川ノ魚ガ瘡セルト云フトキハ、田畑モ共ニ瘡セル、田畑ガ瘡セルバ、ソ
レニ生活シテ居ル人民モ瘡セルト云フ割合ニナッテ居ル、其天産力ニ依ッテ生
活シテ居ル人民デアリマスガ故ニ、渡良瀬川ノ魚ガ瘡セルバ、田畑ガ瘡セル
田畑ガ瘡セルバ、魚ガ死ヌバソコニ生活シテ居ル人民ガ生活ノ途ヲ奪ハレテ
死ヌト云フノハ、極ッテ居ルノデゴザイマス、唯魚ハ川ノ中ニ居ル、人民ハ
外ニ居ルト云フニ過ギナイ、天産力ヲ失ッタンバ、タマルモノデナイ、温
泉場ニ於テ温泉ガ出ナクナレバ、其處ハ亡ビテシマフノハ極ッテ居ル、横濱
ノ富ヲ爲シタノハ何デアアルカ、四十年後ノ今日一坪二百圓三百圓——六尺四
方ノ土地ガ三百圓ニモ賣レルト云フ——四十年此方開ケテ、ソコニナッタン
ハ何デアアルカ、唯横濱ノ海ガ深クテ風ガナイト云フノデ、若シ之ヲ一朝天變
地異ノメニ横濱ノ海ガ淺クナタトキハ、誰モ貿易場ノタメニ生活スル者
ハナイノデアアル——天産ニ生活スル人民ガ天産ヲ失ヘバ、安ズルコトハ出來
ナイ、其處ニ居ルコトガ出來ナイノハ極ッテ居ルガ、唯天産力ヲ失ッタン
ミナラズ、之ニ毒ヲ以テスルノデアアルカラ、横濱ノ海ガ淺クナタリ、温泉場
ノ湯ガ出ナクナタモ、ヤウニ淡泊ノモノデナイ、非常ノ言フニ言レナイ筆
ニモ盡サレナイ、辯ニモ盡サレナイ毒ヲ以テ天産力ヲ打消シタノデアアルカラ、
其アトハ何ニモナラナクナッテシモウノデゴザイマス、唯諸君ニ御訴ヘスルノ
ハ、其區域ハドノ位アルカ、其區域ハ矢張往古ヨリ渡良瀬川ノ水力ニ依ッテ山
間ノ廢土ヤ落葉ヤヲ送ッテ、其時ニ宜クナッタン部分ヲ云フノデアアル、今日ニ至
テ今日堤防ガアリマスカラ、能ク方リ難イノデアリマスガ、堤防ガ破壊シテ

其水ノ擴ガル所、之ヲ假ニ堤防ガ破壊シテ水ガ擴ガル範圍ヲ毒ノ區域トシテ
是ガ往古ヨリ天産力ニ依ッテ生活シテ居タ人民ト見テ宜カラウト思フ、ナカ
ナカ擴イ、是ガ今日ノ被害民ノ調査デ六万町バカリデアアルガ、ナカノ被害
民ノ調査ノ六万町ト云フモノデ止ルモノデハゴザイマセヌ、被害民ノ調査ニ
ハ東京府ノ向島ハ這入ッテ居リマセヌ、東京府ノ向島ハ、今日如何ナル場所
デゴザイマスカ、ソコニ行キマスト東京ニハ學士技師ガ多ク居ルカラ、早ク
ニ調査ガ出來テ居ルノデアアル、餘リ議場ニ於テ私ガ囁々致スト、隨分土地ヲ
賣買スル者ノ御妨ヲ懸念致ス位デアアル、土地ノ相場モ下落シタノデアアル、東
京府ノ向島ハ地面ガ下落シタノデアアル、賢イ顔ハドコニアアルカ、即チ東京ニ
アッテ、東京ハ今日何トモ云ハヌ、隨分ヒドイノデゴザイマスカ、其御話ヲス
ルノデハナイ、區域ヲ御話スルノデゴザイマスカ、向島ト云フヤウナ所、江
戸川ノ縁ト云フヤウナ所ノ被害ノ段別ハ、被害民ノ調査ニハ漏レテ居ル、又
茨城縣ノ霞ケ浦ト云フ大キナ沼ノ邊リモ漏レテ居ル、斯ウ云フ譯デアアルカラ
六万町歩ト云フノハ被害民ノ調ガ六万町歩デアツテ、實際ハ決シテ六万町歩
ニ止マルモノデナイ、八万町カ九万町歩ニ及ンデ居ルコトデアラウト思ヒマ
ス、是ガ先ヅ渡良瀬川及是カラ傳ハル利根川ノ天産力ニ依ッテ出來タ土地デ、
先ヅ重ニ渡良瀬川ニ關係ヲ持ッコトガ多イノデゴザイマスカラ、御話ハ單純
ニ渡良瀬川ニ止メマスカ、斯様ナ譯デ、渡良瀬川ノ魚ガ死ヌガ、人間ハ
害ガナイト云フコトハ、ドコマデモ云ヘナイ話デアアル、山ノ松茸ハナンデ出
ル、松ノ木ガアルカラ出ル、山ノ松ノ木ヲ伐レバ松茸ハ出ナイ、關係ヲ斷レ
テ其處ニ生活ノ出來ナイト云フコトハ、少シ本ヲ讀マ諸君ハ御存ジノコトデ
何ゾ吾々ノ喋々ヲ要サナイコト思フ、ソレカラ此悉ク亡滅シテシマフ年限
ハ何程デアアルカト云フコトデアアル、ソレハ誠ニ既往ニ照シテ是カラ先キノ判
斷ヲ致シタコトデゴザイマスガ是マデノ割合ニ鑛毒ガ流レテ來ルト見マス
ト、唯今申ス所ノ六万町以上アル所ハ、先ヅ前後六十年ニシテ不毛地ト爲ル
コトヲ明言スル、其中二十運デ居ルノデアアル、明治十年ニ先ヅ見附ケタノデ
アルカラ、三十三年ヨリ起算シテ、當年ハ二十年ニナリマス、二十年先ヅ
運デ、ソレデ凡ソ此三分ノ一ガイケナクナッタンデアルカラ、六万町
歩ノ三分ノ一イケナクナタタモノト見ルト、後ト四十年掛レバ、終ル割合ニ算
盤ハ立ツノデアアル、此六万町歩ノ中最早五年前ニイケナクナタタ所、十年前ニ
イケナクナタタ所モアル、是カラ十年位保ツ所モアル、又二十年ニシテ不毛地
ニナル所モアレバ、三十年ニシテ不毛地ニナル所モアル、今日吾々ノ如ク無經
驗ノ人デ——鑛毒ノ地方ヨリ遠方ノ人ダトカ何トカ云フ者ガ見テ、今日アノ
稀薄地デ鑛毒ダト云フガ、稻ハ能ク出來テ居ルト云フヤウナ氣樂ナコトヲ云
ウデ居ルガ、其土地ハ三十年四十年ノ後ニナレバ、矢張イケナクナッタンテ往ク割
合ニナル、此四十年ト云フコトハ動カサナイ、前後六十年ノ中二十年ハ運デ來
テ居ッテ後ト四十年デ、如何ナル鑛毒稀薄地ト雖モ悉クイケナクナッタンシモフ
ノデ、ソレガ悉クイケナクナタタトキニハ、其土地ニ住デ居ル所ノ家屋ハ畜
併テ悉ク之カ何ニモナクナタタシモフ割合ニナルカラ、價ハ幾ラニナルカト
云フニ、其價ヲ今日ノ物價ニ照シテ凡ソ先ヅ見附ケテ見タ年ニハ、幾ラニナル
カ勿論此無形上ノ計數スベカラザル名譽生命權利ナソト云フモノヲ積ルデハ
ナイ、單純ニ積リ得ラル、モノヲ積ッテ是デ何億萬圓ニナルカ、尙ホ先ヅ四十

年ノ後其後トヲ永遠ニ涉ッテ損害ガアレバ、是ハ何ノ人ト雖モ積ルコト一ハ出来マセヌカラ、何千何億万圓ニナルカ積レマセヌカラ、之ヲ求メルノデハゴザイマセヌガ、四十年経テバ、必ズ一列ニ激甚地モ稀薄地モ併セテ四十年ノ後ハ終ヘテシモ、其時ノ價ハ幾ラニナルカヲ今日積ルノデアル、コレ此土地ガ飽町ガ鑛毒地デアルトスレバ、議事堂モナクナッテシモフノデアル、斯様ナ裁判所モナクナッテシマフ積ルノデアル、此積リト云フモノハ今日苟モ學理ノ思想ヲ備ヘテ居ル御方デアッタナラバ、チヨットニモ直キニ分ラヌケレバナラナイ話デアル、何故ナラバ素人ノ田中正造等サヘ以テ、是ダケノコトヲ云フノデゴザイマスカラ、幸政府ニハ學者ガ多イサウデ、大學出杯ト云フ立派ナ御方ガ澤山アルサウデゴザイマスカラ、早速是等ノ調査ハ出来得ルコトデアルダラウ、出来マシタナラバハハ矢張國家經濟ニモ大關係スルシ、國力ノ如何實ニ容易ナラヌコトゴザイマスカラ、早ク議員等杯ニハ參考ノタメナリトモ、早ク是ハ御報告相成ルコトガアッテ宜シカラウト存ジマスル、之ヲ一ツ質問ヲ致スノデアル、其後トハ——モウ一ツノ質問ハ、大分私又疲ガ參リマシタカラ質問書ヲ朗讀致シマシテ、之ヲ讀上ゲマシテ簡單デゴザイマスカラ、御免ヲ蒙ル積

鑛毒ハ人ヲ殺シ當局大臣ハ其請願者ニ面會ヲ許ササル義ニ付質問シ鑛毒流出ノ根源ヲ停止セス其河流ヲ清メヌ年々其毒ヲ甚大ナラシメ當局諸大臣ハ尙之ヲ見サルカ如ク遂ニ人ヲ殺シテ其悲惨ノ窮ヲ訴フルニ當リ秩序アル請願人ニ對シ地方官之ヲ拒ミ大臣之ニ面會ヲ許ササル理由如何

是ダケデゴザイマス、ツレデ一體此死人ト云フモノハドウ云フ種類ノ人ガ多ク死ヌダラウカト云フコトデゴザイマスレバ、御參考マデニ申上ゲマスレバ乎供ト老人ガ矢張大イノデアル、身體ノ弱者ガ多イノデアル、ツレカラ壯健ナル者ハ容易ニ死ナナイガ、是モモウ身體ハ惡ルクナッテ居ルノデアル、サレバ此請願人ト云フ者モ並ニ身體デハナイ、半病人デアルト云フコトハ是ハ分ツタ話デゴザイマス、陽ハニ兵隊ノ檢査ト云フモノニ附キマシテモ、兵隊ノ義務ニ應ズル者ガ減ツタト云フ、此大切ナコトガ出来テ來テ居ルノデア、小學校ノ生徒ノ身體ヲ試驗シマシテモ、劇甚地ノ生徒ト云フモノハ十人ガ十人皆ナイケナイ身體ニナッテ居ルト云フコトハ、地方ノ素人モ醫者モ見テ知ツテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ譯デゴザイマスカラ、請願ニ出テ來ル者ト雖モ半病人デアル、此半病人ト云フモノガ自分ノ親戚ヤ親子ヲ殺サレテ、政府ガ之ヲ處置シテ呉レナイカラ已ム得ズ出テ來ルト云フ者ヲ殺シテ之ヲ當リ前ノ——當リ前ノ人民ト見テ多クノ警察官ヲ向ケルヤ、多クノ憲兵ヲ以テ之ヲ通行ノ出来ナイヤウニ難儀サセルト云フコトニ至ッテハ、政府ノ方ガ非立憲壓制ト云フモノニナッテ、被害民ノ方ハ非立憲デモ何デモナイノデア、正當ナル手續ヲ以テ請願スレバ、何遍納メテモ之ヲ其儘ニ拾置キ、又請願スレバ地方官ヲ以テ——地方官ヲ始メ之ヲ拒ミ、中央ニ來レバ當局者ガ之ニ面會ヲシテモ、冷ニ大臣ハ面會ヲ許サヌトカ何トカ人殺シテ置イテ——已レ監督行届カズシテ已ノ職責ヲ怠ッテ、皇帝陛下ノ臣民ヲ殺シテ置イテ、尙ホ且ツ尊大ニモ、傲慢ニモ、此人民ニ面會ヲ許サヌト云フコトデハ、是ハ被害民ガ大勢出テ來ルト云フヤウナコトハ、是ハ當リ前ノコトデアル、其出テ來ル人間ガツレナラドウ云フ者カト云ヘバ、唯今申ス通ニ半病人ノ人間ガ出

テ來ルノデアル、身體ガ半病人ニナッテ居ルノデアル、此人間ガ出テ來ルモノヲ、之ヲ何カ鑛毒年ノ亂暴人ノ如ク、何カ境ノ爭ノタメニドヤト出テ來ル所ノ人民ノ如ク、常ニ憲法法律ノ保護ヲ完全ニ受ケテ居ル所ノ人民ガ、心得違フ以テ出テ來ル者ト同ジニ看做シテ、是ニ甚シキハ兵隊ヲ向ケル、憲兵ト雖モ即チオトナシケルノデハナイノデアル、或ハ馬ニ乘ッテ往ッテカラニ、多クノ馬ヲ乗出シテカラニ、人民ノ野宿シテ居ル所ヲ驅回ッテカラニ、夜半ニ之ヲ騷シテ見タリ、或ハ宿屋ニ居ル者ヲ引摺出シテ見タリ、斯様ナコトヲスルト云フコトハ、實ニ亂暴根籍デアル、是ガ一ト通ノ頭デハサウ云フコトハ出来ナイノデ、此間モ簡短ニ申シマシタケレドモ、誠ニ恐レベキコト、悲シムベキコトデアルノデ、我國ノ——日本ノ正直ナル兵隊ガタタ一人ノ此惡人ノタメニ、此一人ノ惡人ノタメニ、金ヲ貰ッタ奴ガアルカラシテ、是等ガ此大切ナル所ノ兵隊ヤ巡查ヲ利益シテ——利用シテサウシテ國家ノ費用ヲ多ク濫費シテ、此我、皇帝陛下ノ臣民ノ殺サレル、殺サレルニ附イテ是ガ來ル所ノ請願ノ途ヲ塞グト云フコトニ、此國家ノ兵隊ヲ濫用スルトマデ根性ガ曲ッテ腐レタノデアル、何ト悲シイ話デゴザイマセウ、諸君、古河市兵衛其者ニ我國家ノ兵隊ガ是ガ自由ニ使ハレルト云フ、我此警察ガ自由ニコイツニ使ハレルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、何トモ政府ハ——政府ガアル所デヤアナイ、政府ガナケリヤアツンナコトニハナリヤアシナイノデアル、先ツ左様ナ譯デゴザイマスカラシテ、此質問書ト云フモノヲ提出致シマシテモ、政府ノ惡ルクナルノモ、今日始テ俄ニ惡ルクナツタニアラズシテ、即チツレ——ノ歴史ガアルカラ、鑛毒事件一ツデモ、二十四年以來眞面目ナ答辯ト云フモノハ一ツモナイノデアル、皆詐リノ答辯ト根據ノナイ無根ノ答辯、無根ノ答辯ト詐リヲ以テ世ノ中ヲ欺イテ、又今回ノ質問ニ對シテモサウ云フコトガアルカハ知レマセヌケレドモ、今度ハ止メル方ガ宜カラウ、質問ノ答辯ハドウヤウナコトヲ書イテ出シテモ、人間ガ死ヌト云フ證據ガ一方ニ舉タリ、或ハ五万町モ六万町モ田地ガドン／＼惡ルクナッテ往クト云フ、大キナ證據物件ガ舉ツタトキニハ、國家一般ノ眼ヲ悉ク此答辯書ヲ以テ掩ヒ盡セルモノデハナイカラシテ、詐リノ答辯、無根ノ答辯ヲ以テ一時ヲ瞞著スルト云フコトハ、モウ功シテ效ナキ時代デアルカラシテ、ツレハ御止ニナッテ既往ノヤリヲコナヒハ、據ロナキ話デアル、誰カ又心懸ケテ賄賂ヲ取ッテバカリヤル譯モアルマイ、智慧ガ足リナイト云フコトモアルダラウカラシテ、ヤリツコナヒハ先ツ既往ノコトハドウシタツテモ間ニ合ハナイ話デ、是ヨリカモ——誠實ナル所ノ答辯モナシ、誠實ナル所ノ人民ヲ救フテヤルト云フコトノ頭ガ出レバ、是ガ手段ガ立ッテ參ルノデアル、是マデノ如ク——是マデノ如ク唯如何ニセバ足尾銅山ノ此惡事ヲ隱スコトガ出来ルカ、如何ニセバ政府ノ惡ルイコトモ隱スコトガ出来ルカ、如何ニセバ古河市兵衛ニ對シテ好イ顔ガ出来ルカト、其方ハバカリ頭ヲ突込シテ居ッテカラニ、己ノ職責ヲ曠シクシテ居ッテデゴザイマスケレドモ、是ヨリハ志ヲ改メテ精神ヲ改メテ、政府デアルカラ如何ニセバ此人民ヲ救ヒ得ルカ、如何ニセバ此窮民ヲ救ヒ得ルカ、如何ニセバ是カラ先キハ人ヲ殺サナイヤウニ出來ルカト云フ頭ガ出ナケレバナラナイノデアル、其方ノ心持ヲ以テ、サウシテ如何ニセバ此人民ヲ救ヒ得ルヤト云フ方ノ頭モ

是ヨリ之ヲ竝ベテ往カナケレバナリナイノデアアル、唯如何ニセバ古河市兵衛ニ對シテ御機嫌ガ取レルダラウカ、此方ヘバカリ頭ヲ突込シテ、己ノ本領ト云フモノヲ悉ク滅却シテソレ火元ハ農商務省デアアルノデ内務省ハ何ゼ之ヲヤカマシク言ハナイノデアアル、内務省ハ何ゼ此問題ニ附イテヤカマシク言ハナイノデアアル、是レ己ノ本領ヲ侵サレタノデアアル、己ノ本領ヲ侵サレルノミナラズ、此内務省ハ先立ッテカラニ農商務省ノ手傳ヲシテ、被害民ガ出テ來テ鑛業停止抑テ言ッテハ、アナタニハ御迷惑デアラウカラ、兵隊ヲ繰出シ、巡查ヲ繰出ス、内務省ガ手傳ッテ此被害民ヲ撲滅スルト云フコトニマデ仕事ヲスルト云フノハ、己ノ本領ヲ侵サレドコロノ話デハナイ、己ノ本領ヲ自分デ打破ッテ、人民ヲ保護スベキ所ノ内務大臣ガ、人民撲滅ヲスル農商務省ノ亂暴狼藉ヲ助ケテ居ルト云フコトデアアル、是デ國家ガ持テマスルカ、若シ夫レ農商務ニ於テ過アラバ何ゼ之ヲ内務大臣ガ早ク救ハヌノデアアル、内務省ニ於テモ過アラバ又之ヲ大藏大臣ニ於テ救フベキ所ハ救ヒ合ッテ、互ニ此責任ヲ守リサヘスレバ、其過ヲ深カラシメザルモノヲ、却テ其過ヲ深カラシムルコトヲ一方カラ煽動シテ居ル、ソレデ私ハ長イコトヲ申ス譯デハアリマセヌカラ、又明日ニモ質問書ヲ——又此會期中毎日一ツ位出シマスカラ、一々演壇ニ登ッテ質問演說ハ致シマセヌ、又院外ニ責任ヲ持タナイト云フヤウナ大層調法ナ文章モゴザイマスケレドモ、私ハサウ云フモノハ假ノモノト見テ居ルノデアアル、演壇ニ登ッテ御話ヲ申スト云フトキニハ、ドナタモ同ジコトデ、責任ヲ以テ述ベルノデアアリマセヌ、憲法ニ於キマシテハ議院内云々モ若シ夫レ惡ルケレバ、院外ニ於テ私ハ十分責任ヲ持ッテ居ルノデアアル、ドウカ院內ニ於テハ大臣ノ事ヲ何ト言ハウガ、是ハ院內ノコトデアアルカラ、院外ニ責任ヲ持タナイ、言フニ便利ダカラ言フ、斯様ナ卑劣ナ私ハ頭ガナイノデゴザイマス、即チ院內モ院外モ道德上ニ於テ一デゴザイマスカラシテ、又政府ノ役人ヤ何カニ致シマシテモ其通、院內デ議員ニ言レタコトハ是ハ一時ノ耻デアアツテ忍ベバ宜イ、惡ルク言レトキニ顯席シテ居レバ宜シイ杯ト言レタモ、議院內デ言レタコトハ山林拂下ノ泥捧ト言レヤウガ、農商務省ハ化物屋敷ダト言レヤウガ、何ト言レタモ、是ハ院內ノコトデアアツテ、議院外ニハ責任ノナイ、議員ノ言フノデアアルカラ、是ハ一時ノ耻ダ、院內ノ耻ハ耻ノ搔キ捨テデアアルカラシテ、院內デ何ト言レタモ是ハ世間ニ外開ガ惡ルクナイ、斯様ナ馬鹿ナ考ノナイヤウニ、法律ヲ憲法ト云フモノハ書クモノデアアル、靈妙ナル人間ノ頭ト云フモノハ、院內モ院外モアル譯ノモノデヤナイノデアアルカラシテ、院內デ言レタコトハ即チ是ハ官吏ガ目前デ言レバ、是ハ官吏ノ耻トシナケレバナラヌ、又議員ノ方モ議院內デ言ッタコトハ、己ハ院外デハ責任ヲ持タヌ杯ト云フヤウナ、三百のノ解釋ハ吾々致サヌ決心デゴザイマス、ドナタモ其御積ニ相違ナイノデゴザイマス、ソレデ後トハ又明日

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ノ議事ニ移リマス、議事日程ノ第一鐵道國有法案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第一 鐵道國有法案(政府提出)

第一讀會

鐵道國有法案

第一條 私設鐵道ニシテ國有トスルノ必要アルモノハ之ヲ買收ス
國有トスヘキ線路、時期及買收ノ費額ハ隨時法律ヲ以テ之ヲ定ム
第二條 私設鐵道買收ノ費用ハ鐵道公債ヲ以テ之ニ充ツ
前項ノ公債ハ公債證書ヲ發行シ鐵道會社ニ買收代價トシテ額面ヲ以テ之ヲ交付ス
第三條 鐵道公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五以下トス
第四條 鐵道公債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ニ依ル

(逓信大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル)

○逓信大臣(子爵芳川顯正君) 諸君、第十三帝國議會ノ開會中、衆議院ハ鐵道ハ最要ノ交通機關ニシテ、之ガ管理經營ヲ統一スルガためニ、國有ニ歸スルノ要アルヲ以テ云々、適當ナル法案ヲ定メテ帝國議會ヘ提出致サレタイト云フコトノ建議ヲ昨明治三十二年二月九日ヲ以テ送付セラレタデアリマス、抑タル鐵道ノ國有タルベキコトハ現在法律ノ明ニ指示ス所、且ツ從來我政府ガ執事リシ所ノ方針デアアルガ故ニ、恰モ衆議院ノ建議ガ政府ノ執事ノ方針ト恰當スルガ故ニ、何等此間ニ於テハ政府ハ異議ヲ挾マナカッタデアリマス、唯奈何セシ國家ノ財務ノ都合ニ顧ミ、又之ヲ社會ノ經濟事情如何ニ照シマス、茲ニ於テ審查研究ヲ要サナクテハナラヌモノデアアルヲ如何シマセウ、曩ニ我國ハ明治二十七八年ノ頃ニ日清戰爭ノ餘勢ヲ受ケ、民間各般ノ事業ハ俄然トシテ勃興シ、經常ノ軌道ノ外ニ奔逸致シタルガためニ、財源ハ窮乏ヲ告ゲ、事業ハ沈滞シ、社會經濟ノ基礎ハ之ガためニ動搖セントスルノ傾向ヲ呈シタデアリマス、斯ル社會ノ形狀ナルトキニ於テ、鐵道國有ヲ實行致スニハ勿論莫大ノ資金ヲ要スルニ相違ナイコトデアアル、其資金ハ如何ナル方法ヲ以テ、如何ナル方面ニ向ッテ之ヲ求ムベキヤ、又買收スベキ線路ハ如何ナル財源ヲ民間ニ放下セラレタ曉ニハ、經濟社會ハ如何ナル影響ヲ受クルノデアアラウカト申ス如キ、買收ニ必要ナル條項ヲ查覈究致シタル曉デナケレバ、容易ニ廟議ヲ決定スルニ由ナカッタデアリマス、是ニ於テ政府ハ客年發布ニ相成リマシタル第四十三號勅令ノ趣旨ニ基キマシテ、文武高等官、貴族兩院ノ議員、其他鐵道經濟ノ學識ニ經驗アル人士等、凡ツ三十名ノ人ヲ調査委員ニ選命致シ、調査委員會ヲ組織致シテ、此調査ニ從事致サセタノデアリマス、其調査ヲ致サセマスルニハ、如何ナル事項ヲ以テ致シタカト申スト、第一ニハ買收スベキ線路、如何ナル線路ヲ買收スベキモノデアアルヤ、又買收スルニハ如何ナル價格ヲ以テスルモノデアアルヤ、買收スルニハ如何ナル時期ニ於テスルモノデアアルヤ、買收スルニハ如何ナル方法ヲ用フルモノデアアルヤ、買收後ノ處分ハ如何ニスル、之ヲ買收スル財源ノアリヤ否ヤ、果シテ買收ヲ行フトキニハ、買收ガ經濟界ニ及ス影響ハ如何デアアルト云フ如キ事項ヲ收調査會ニ附シテ調査フベシメタノデアアル、爾後調査會ニ於テハ更ニ主査委員ヲ設ケ、又此事項ヲ數部ニ別ケ、各々擔任ヲ定メテ調査ニ從事ヲ致シタノデアリマス、爾來年ヲ閱ミスルコト殆ド一箇年ニ近ク、會ヲ開クコト大小數十回ニ及ビ、拮据經營、漸クニシテ其調査ヲ終ヘテ之ヲ本會ニ移スコト、相成リタノデアリマス、本會ニ於キテハ此主査會ノ調査ヲ受取り、更ニ數回ノ會議ヲ

開イテ、審査攻究ヲ致シタル曉、遂ニ主査會ノ意見ノ如ク今ヨリ國有鐵道ノ實行ニ著手致ス時期ナリトシ、調査ノ局ヲ終ヘタノデアリマス、是ニ於テ政府ハ更ニ其議決ニ依テ審査攻究ヲ遂ゲ、大要其議ヲ容レ、間ニ政府ノ修正ノ意見ヲ加ヘ、茲ニ鐵道國有法案、私設鐵道買收法案ノ二法案ヲ編成致シ、諸君ノ前ニ提出スルコト、致シタノデアリマス、蓋シ私設鐵道買收致シテ國有トスルコトノ利害ニ附イテハ、從來歐洲諸國ニ於テモ經驗スル所アルノミナラズ、殊ニ本院ニ於テハ去ル議會ニ於テ諸君ガ建議セラル、際ニ於テ、十分ニ其得失ニ附イテハ審議攻究セラレタル問題デアリヨリ、本大臣ハ茲ニ更ニ之ヲ喋々スルノ餘地ハナイト信ズルノデアリマス、思フニ帝國議會閉會ノ期モ最早數日ノ後ニ追ッテ居ルノデアリマスヨリ、願ハクハ審議ノ上、速ニ此案ニ向ッテ、協贊ヲ與ヘラレンコトヲ切望致シマス

○高木正年君(百二十八番) 議長
○議長(片岡健吉君) 御質問デスカ
○高木正年君(百二十八番) 質問デス、唯今大臣ハ買收法案ト一緒ニ御説明ニナッテヤウデアリマスガ、私ハ買收法案ニ附イテ質問ガアル、後トデ宜シケレバ後トデモ宜シウゴザイマス
○議長(片岡健吉君) 高木君ノ質問ハ此後トノ議事日程ニ上ボッタトキニナサイ、格別御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第二特別委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○恆松隆慶君(百四十三番) 是ハ質問ハ隨分アルデアリマセウガ、免ニ角是ハ委員ニ付託シテ十分調査シテ、大問題デアリマスカラ、委員ハ十八名、議長ノ指名、次ノ日程モ併合セタイト思ヒマス
○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程ノ第三私設鐵道買收法案、第一讀會

第三 私設鐵道買收法案(政府提出) 第一讀會
私設鐵道買收法案
鐵道國有法ニ依リ左ノ鐵道線路ヲ買收ス
日本鐵道
西成鐵道
北海道炭礦鐵道
北越鐵道
甲武鐵道
關西鐵道
山陽鐵道
九州鐵道
京都鐵道

第二條 買收ノ費額ハ二億圓以下トシ向フ十箇年間ニ之カ買收ヲ終了ス
衆議院議事速記第二十五號 明治三十三年二月十三日 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

經濟上ノ狀況ニ依リ前項年間に買收ヲ終了スル能ハサルトキハ政府ハ之ヲ伸長スルコトヲ得

但シ此ノ場合ニ於テ政府ハ其ノ旨ヲ帝國議會ニ報告スヘシ
第三條 前條ノ費額ニ不足ヲ生シ買收ヲ終了スル能ハサルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ増額スルコトヲ得

第四條 政府ハ必要ト認ムルトキハ會社ノ株券ヲ買入ルルコトヲ得
第五條 會社ト買收ノ議調ハサルトキハ政府ハ其ノ線路ニ代ハルヘキ鐵道ヲ敷設スルコトヲ得

第六條 前二條ノ場合ニ於テハ其ノ財源ハ鐵道公債募集金ヲ以テ之ニ充ツ
○高木正年君(百二十八番) 唯今逋信大臣ハ買收法案ノコトモ併テ御演說ニ相成リマシタヤウニ私ハ承リマシタガ、コレニ附イテ一言此買收法案ノ第五條ノコトニ附イテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、其質問致ス事柄ハ此買收法案ニ依リマスルト、萬一政府ト鐵道會社トノ間ノ協議ノ成ラヌトキハ、政府ハ別ニ線路ヲ敷設スルコト云フ條項ガアルノデゴザイマス、此條項ヲ設ケナケレバナラヌ必要ニ附イテ、質問ヲ致シタイノデアリマス、デスヲ申ス百二十八番ガ之ヲ聽カナケレバナラヌト申シマスルノハ、一體此買收セネバナラヌ、國有ニセネバナラヌト云フコトノ必要ハ、如何ナルコトヨリ起リマスカタ申スト、所謂動員運動ノ必要ニ依ッテ、政府ガ是等ノ鐵道ヲ支配スル最モ便利ト爲スト云フ趣意ガ一ツデアルト思ヒマス、サリナガラ強チ此私設鐵道會社ヲ監督スル上ニ於テ、或ル場合ニ於テ政府ガ自由ニ徵發シ、若クハ是等ノ運轉ヲ爲サシメルト云フコトハ、縱令買收セザルモ政府ニ於テ監督ガ平常ニ行居イテ居ルノト、今一ツ其場合ニ於ケル政府ノ勸次第デ、毫モ斯様ナ所謂條項ヲ設ケテ、何デモ政府ガ買ハネバナラヌト云フ、脅迫シテモ會社ノ營業ヲ奪ハネバナラヌト云フ必要ハ、毫モ起ラナイト私ハ思ヒマス、尤モ鐵道運轉ノコトニ附イテハ、從來甚ダ不足デアッタニ相違ナイ、併シ先達議會ニ提出セラレタ鐵道營業法案ノトキニ、私ガ政府委員ニ承リマシタノハ、斯ル營業法案ヲ出スト云フコトハ、如何ナル必要デアルカ、果シテ此法案ノ如ク政府ガ私設鐵道ヲ監督スル、若クハ私設鐵道ノ運轉ニ附イテ、總テ政府ノ有スル所ノ官線ト同一ナル步調ヲ整フル必要ガアルタメニ、設ケルノデアアルカト云フコトヲ尋ネマシタトキニ、其通デアルト云フ答辯ヲ得タノデアリマス、果シテ此私設鐵道ガ鐵道營業法ニ依ッテ、政府ノ監督ノ下ニ自由ニ政府ノ命令ヲ聽カシメルコトヲ得ルノ必要ガアルニ於テハ、殊更ニ此買收法案ノ第五條ヲ設ケテ、如何ニモ壓制ニ民間ノ事業ヲ奪ウテ、奪ウヨリモ寧ロ廢セシメルト云フ意思ヲ以テ、此買收法案ニ第五條ヲ掲ゲマシタノハ、何ノ必要デアアルカト云フコトノ、御答辯ヲ得タイト思フノデゴザイマス

(政府委員逋信次官工學博士古市公威君演壇ニ登ル)
○政府委員(古市公威君) 私カラ高木君ニ御答奏シマス、御承知ノ通現行私設鐵道條例ニ買收ノコトガ規定シテゴザイマスケレドモ、アレハ御承知ノ通二十五年以後ノコトデアアル、而シテ一度國家ガ或ル線路ヲ買收スルノ必要ヲ認メマシタ所ガ、買收ニ應ジナイト、ドウモ致方ガナイ、然ルニ其目的ヲ達セニヤナラナイトスレバ、斯ノ如キ規定ヲ要スルコトハ申スマデモナイコト、考ヘル、而シテ又一方ニソレヲ揭ガナケレバナラヌノハ、此第六條ニ關係ガア

ルノデゴザイマス、ツレ故此法案ニ揭グタニ外ナラヌデアリマス、デ監督ノ御話モアリマシタガ、之ヲ外國ノ例ニ依ッテ考ヘテ見マシテモ、成ル程營業法杯ガ整頓致シテ居ッテ、監督ノ設備ガ整ウテ居ル所デモ、尙ホ國有ノ議論ガアル位ナコトデアリマシテ、之ヲ事實ニ於テ必要ナ線路ヲ同一ニ管理シテ經營ヲ全ウスルト云フコトハ軍事上經濟上ニ必要ナル、其大系絡ヲ附ケルノニ唯協議ガ整ハナイ、ツレガタメニ此目的ヲ廢スルト云フコトハ、甚ダ遺憾ナコトデアルカラ、ツレニ代ルベキ線路ヲ設ケルコトガ出來ル、ツレヲ設ケルニハ第二條ニ揭グテアル金額ノ範圍ヲ以テ、第五條ノ線路ヲ設ケルト云フ趣意ニ外ナラヌデアリマス

○高木正年君(百二十八番) 唯今遞信次官ノ御答辯ガアツタノデスガ、實ハ芳川大臣ヨリ伺ヒタカッタデアリマスガ、唯今古市サンノ御答辯ニ依リマスルト、一向私ノ申シタ所ノ要領ヲ得テ居ラヌト思フ、デ縱令營業ノ上ニ於テ政府ノ監督ヲ行居イテ恰モ官線ノ如ク、總テノ經營ヲ成立セル場合ニ於テモ、尙ホ國有トスル必要ガアルト云フ御説デアツタ、併シツレハ國柄ニ依ルノデアリマス、是ハ議論ニナルカラ強テ申シマセヌガ、既ニ營業法ニ依リ、縱令營業法ニヨラザルモ政府ガ十分監督シ、且ツ運轉ノ上ニ於テ十分ナル勸ヲ爲スト云フ上ニ於テモ、尙ホ更ニ私設會社ヲ潰シテマデモ、其線路ヲ政府ガ買收シナケレバナラヌト云フコトニ附イテ、確タル御答辯ヲ求メタイノデアリマス

(遞信大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル)

○遞信大臣(子爵芳川顯正君) 高木君ノ御質問ニ御答致シマス、今次官ヨリ答辯セシメタガ、御不満足ノヤウデアリマスカラ、私カラ御答ヲスルノデアアル全體此鐵道國有ヲ必要トスル點ニ於テ、調査會ニ於テハ、此強制ノ執行ヲシナケレバナラヌト云フ議論デアツタデアラガ、併シツレ等ノ議論ハ、如何ニ鐵道ヲ國有トスルト云フ點ニ於テモ、餘リヒドイダラウ、斯ウ云フノデ、此議論ハ詰リナクナツテシマウタ、併ナガラ或ル所ニ於テ一例ヲ設ケテ言ヘバ、茲ニ百哩ノ鐵道ガアル、其時ニ九十里マデ官有ニナツテ、即チ國有鐵道ニナツタ所ガ、十里ノ鐵道ニシテモ之ガ買レナイト云フ場合ニナルト假定致シタナラバ、其時ニ此十里ノ——九十里ノ鐵道ヲ十里ノタメニ效ヲ全ウスルコトス出來ルト云フコトデアアル其處ニ於テ斯ル場合ニ至ツタナラバ、第五條ヲ置イテ別ニ並行線デモ設ケテ國有ノ實ヲ全ウスルヨリ致方ガナイト、斯ウ云フ譯デ、此五條ヲ置イタノデアリマス、ツレノ可否得失ニ附イテハ諸君御勝手ニ御議論ナサルガ宜シイ、大趣意ハ其通デアリマス

○高木正年君(百二十八番) 議論デアアリマセヌ、唯今大臣ハ強制執行ヲシテマデト云フ議論ガアツタガ、ツレハ殊ニ殘酷デアアルカラサウハシナイト云フ御説ガアツタ、併シ政府ガ命令デ無理ニ買上タルノガヒドイト云フヨリモ、寧ロ此法ニ依ッテ其營業ヲ停止セシムルト云フ方ガ、強制執行ト云フ文字ノ上ニ於テハ、強テコトヲ執行スルコトガアル、第五條ノ方ガヒドイヤリ方ニナル、政府ハ私設會社ト競争シテ、其會社ヲ潰サナケレバナラヌト云フノハ、何ノ必要ヨリ參ルカ一向私ニハ分リマセヌカラ尙ホ伺ヒタイ

○遞信大臣(子爵芳川顯正君) 宜シイ御答致シマス、利害ハ何レニシテモ比較ニ相違ナイ、私設ノ營業會社ニハ惡ルイコト悲シイコトニハ相違ゴザイ

マスマイガ、ツレガ行レナイガタメニ、他ノ大ナル鐵道ヲ國有スルノ實ガ行レナカッタラドウナリマスルカ、斯ル場合ニ際會スレバ、僅三哩カ六哩ノ鐵道ノタメニ、例ヘバ數百哩ノモノガ效ヲ全ウスルコトガ出來ヌト云ヘバ、小サイ人ニハ迷惑ヲ掛ケテモ、大ナルモノニ便利ヲ與ヘナクテハナラヌト云フコトハ、世ノ中ニ往々アルコト、私ハ信ズルノデアリマス、畢竟第五條ヲ設ケタノハ其精神ニ外ナラヌデアリマス

○恆松隆慶君(百四十三番) 質問ハ止メマシテ、次ノ日程ニ移ッテ、質問ハ委員會十分ヤッテ、其事柄ハ速記録ニ出テ來ルコト、思ヒマス

○初見八郎君(二百四十七番) 鐵道ヲ買收スルニ當リマシテ、二億圓ノ公債ヲ出シテツレヲ以テ買收スルト云フコトニナツテ居リマスガ、此二億圓ノ公債ヲ十箇年ニ市場ニ下グタナラバ、公債ノ下落ト云フモノハ非常ナコト、考ヘマスルガ、併ナガラ政府ニ於テハ一億圓ノ公債ヲ十箇年ニ市場ニ出シテ、更ニ經濟社會ノ紊亂ヲ致サヌト云フ御見込デアリマスガ、如何デアリマスガ、之ヲ第一ニ質問致シマス、第二ニ此買收法案ノ第六條ニ「前二條ノ場合ニ於テハ其ノ財源ハ鐵道公債ヲ募集金ヲ以テ之ニ充ツ」トゴザイマス、サウ致スト云フト會社ガ買收ニ應ゼザル場合ニ於テ線路ヲ更ニ造ル、其時分ニ鐵道公債募集金ヲ以テ其資金ニ充ツルト云フノデゴザイマス、サウスルト募集金ト云フモノハ、前ノ一條ニ買收ノ費額ハ二億圓以下トナリマスカラ、矢張募集金ハ二億圓、鐵道公債ヲ二億圓ダケ募集スルコトニナツテ居ル、其二億圓ノ公債ト云フモノヲ向フ十箇年間ニ、現在ノ經濟界ノ有様ヲ以テ、何處デ募ルノデアリマスガ、内地デ募ルノデアリマスガ、或ハ外國ノ市場デ募ルノデアリマスガ、既ニ現在ノ僅ノ外債ヲ起スニシテ非常ニ困苦シテ、其結果甚ダ面白カラヌ應募ノ姿デアツタノニ、其應募ガ成就シタコトニ附イテ、大藏大臣ハ此演壇ニ於テ氣煩ヲ吐カレタ、大層仕事ガ成就シタカノヤウニ言ハレマシタ、サウ云フヤウナ有様ニモ拘ラズ、茲ニ又更ニ二億圓ノ公債ヲ募集スルト云フニハ、如何ナルコトヲシテ御募リニナルノデアリマスガ、果シテ此御成算ガアルノデアリマスガ、唯法律ニ無關ニ此條項ヲ揭グタニ過ギヌノデアリマスガ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、ツレカラ第五條ニ「會社ト買收ノ議調ハサルトキハ政府ハ其線路ニ代ハルヘキ鐵道ヲ敷設スルコトヲ得」ト、此線路ニ代ルベキ鐵道敷設スルニハ、ドウ云フ風ニ代ルベキ鐵道ヲ御敷設ニナル御考デアリマスガ、チヨット此文字ノ上カラ考ヘマスルト、既ニ舊來アル所ノ線路ノ上ニ、或ハ屋ヲ重ヌル如クニ二階ノ鐵道デモ御造リニナル思召デアアルカ、如何ナル方法ヲ以テ御造リニナルト云フ御見込カ、其設計ハ豫メ御考ニナツテアリマスガ、唯其場合ニ臨ンデ更ニ設計ヲ立テルト云フ思召デアリマスガ、此三點ヲ伺ヒタイ

(政府委員大藏省主計局長法學博士阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答致シマス、此二億圓ノ公債ヲ十箇年ノ内ニ募集シテ、市場ニ公債ノ下落ヲ來スト云フヤウナ憂ハナイイカト云フ御尋デゴザイマスガ、此點ハ調査會ノ報告ニ依ッテ見マシテモ、最モ議論ノアリマシタ點デゴザイマシテ、餘程重要ナ問題トシテ綿密ナル攻究ヲ經タルモノデゴザイマス、ツコデ御承知ノ通ニ大體此公債ハ現今デハ募集致シモノデハゴザイマセヌデ、詰リ會社ノ株券ト公債トノ交換ニナリマスモノデゴザイマスカラ、

餘程市場ニ影響致シマスル點ガ、單ニ現金ヲ募集致ストハ違ヒマス、其點ハ
調査會ニ於テ餘程ニ議論ガアツタコトデゴザイマス、所ガ現在既ニ議會ノ
協賛ヲ經テアル所ノ公債事業ノ計畫ノミニ依リマス、此公債ヲ株券ト交
換シテ發布ヲ致シマスルノガ、此十箇年ヨリモモソツト縮マルコトデアリマ
スレバ、既ニ御承知ノ通り第一期線、其他ノ補足致シマスル豫算ヲ提出致スニ
附イテハ、將來政府ノ公債ヲ以テ計畫スル事業ノ上ニ於テハ、募集致スモ
ガアルト云フカラニ、調査會デハ十箇年トシテ極メタノデアリマシテ、此十
箇年ノ年限デアレバ、今日ノ調査ニ於テハ公債ニ影響ヲ來スコトナク、募
集シ得ルト、募集シ得ルデハナイ、發行シ得ルト云フコトガ出來マス、併ナ
ガラ此公債ヲ巨額ニ發行シタガタメニ、公債ノ下落ヲ來シ、又一般金融市場
ヲ動亂スルト云フコトハ、最モ慎重ナケレバナラヌコトデ、政府ニ於キマシ
テモ亦當議院ノ建議者ニ於キマシテモ、市場ヲ動亂シテマデ、公債ヲ發行シ
テ宜シイト云フ論ハ一人モナイノデアリマシテ、即チ政府ニ於キマシテハ其
邊ハ十分酌量シテ、萬一所謂市場デ以テ經濟上不和ナ場合ニ於テ、十箇年ノ
期限ヲ幾分延期スルト云フコトガ第二條ニ入レテアル、即チ此公債ヲ發行
スルガタメニ市場ノ動亂ヲ來スト云フコトハ、十分注意シテ之ヲ防イデ發行
スルコト云フ目算デゴザイマス、ソレカラ第六條ノ財源ハ公債募集金ヲ以テ
之ニ充テルト云フコトハ御尋問ノ通り、是ハ御質問ノ通り、通ニ現金ヲ以テ市
場カラ募集シナケレバナラヌ、併ナガラ政府ニ於キマシテハ、大概會社トノ協
議ト云フモノガ總マルモノト見込デ居リマス、未ダ如何ナル會社ガ異議ヲ云
フコト云フモノハ、是ハ協議ノ上デナケレバ極リマセヌケレドモ、二億ノ公
債ト云フモノヲ外國ニ於テ募集スルノ考ハ少モゴザイマス、縱ニバ協議ガ
整ハズシテ敷設致シマス場合ガゴザイマス、其資金ハ内地ニ於テ募集
スル考デゴザイマス、ソレカラ此第六條ト云フモノハ全ク豫備ノ簡條デゴザ
イマシテ、未ダ事件ノ生ゼヌモノデアリマス、其事件ガ生ジタ上デナケ
レバ、十分ナ計畫ハ申述ベラレマセヌガ、固ヨリ此協議ノ整ハズト云フ場合
ハ、極テ稀ナ場合デアラウト想像致シマス、ソレカラ第三ノ此並行線ヲ
敷設スルト云フコトハ付イテハ、逕信省所管ノ政府委員カラ御答辯致シマス

(政府委員逕信次官工學博士古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 初見君ノ第十五條ニ附イテノ御質問ニ答ヘマス
ガ今日ハ計畫ガ出來テ居ルト云フコトハ、今日カラ決シテ明言シ得ルコト
ハ出來マセヌガ、決シテ一階ノ鐵道ヲ修ヘル積デハナイノデス、縱令之ニ代
ベキト書イテアツテモ、並行線トハ書イテナイ、況ヤ同一線ト云フ積デハナイ、
ソレデ同シ甲カラ乙點ニ達スル線路ニナツテ、其間ニ丁ヲ經テ居ルト云フノ
ガ、現在ノ有様、然ルニ其甲乙ト云フ線ニ對シテ協議ガ整ハズトキハ、鐵道ノ
計畫カラハ甲丁ヲ經テ乙ニ至ルト云フ線ニ對シテ計畫上差支ナイ、計畫ニ差支ナイト
云フ考デアツタナラバ、甲丁乙ト云フ線路ヲ設ケルコトモアラウト思フ、是等
ハ今日ニ於テドノ線ガ、斯ウ云フコトニナルダラウト云フ考ノアル譯デ
ハナイデアリマシテ、先刻モ申シタ通り或ル場合ニ斯ウ云フコトヲヤルト云フ
コトヲ、法律デ認メテ置イテ貰フト云フニ過ギナイ
○議長(片岡健吉君) 關信之介君カラ舊斗南藩士家祿處分法案ノ委員會ヲ開
キタイト云フコトデアリマスガ、許シテ異議アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス
○工藤行幹君(二百七十九番) 私モチヨット御尋シタイノハ、西成鐵道ヲ買
收シナケレバナラヌト云フ必要ガ、何レニ在ルカト云フコトヲ御尋シタイ、
ソレハ本員ノ御尋シタイ所以ハ、彼ノ西成鐵道或ハ北越鐵道ノ如キハ、皆或
ハ縱貫鐵道トモ云フベキモノデアアルガ、西成鐵道ハ是非買收シナケレバ國家
ノ運輸上ニ差支ルト云フ理由ハ解シ惡クイノデアアル、ソレカラ第四條ノ政府
ハ必要ト見ルトキハ、會社ノ株券ヲ買入レルト云フコトハ此必要ト云フノハ、
必ズ此第五條ノ如キ會社デ買收ノ整ハヌトキデナイ、何デモ政府デ都合上必
要ト認ムルトキハ株券ヲ買入レルコト、私ハ解釋ヲスル、果シテ然ラバ此買
入レルト云フコトキハ、豫メ値段ヲ極メテ其鐵道國有法案ノ第二條ノ第二項
ノ如ク、豫メ議會ノ協賛ヲ經テ然ル後ヤルト云フ所デゴザイマス、或ハ又政
府ガ必要ト見タトキニハ、ドン、議會ニ諮ラズシテ之ヲ買收スルト云フノ
デアリマスガ、株券ヲ皆買入レルカドウカト云フコトヲ承リタイ

(政府委員逕信次官工學博士古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 工藤君ノ前段ノ御尋ニ答ヘマス、西成鐵道ハ御承
知ノ通り僅ニ鐵道デアリマシテ、恰モ官線ノ大阪ノ荷物線ヲ引延シタヤウ
ナモノデアアルノデス、ソレデ段々世ノ中ニモ異議ガアリマス、鐵道ト港トノ
聯絡デアリマスガ、ドウシテモ海陸ノ聯絡ヲ全ウシナケレバナラヌト云フ所
デ、近頃大阪デ築港ヲ致シテ居リマス、此築港ガ御承知ノ通り安治川ノ南ニナ
テ居ル、併シ安治川ノ北ニモアレバ、船渠ガ出來ルコトニナツテ居ル、即チ丁
度今ノ西成鐵道ノ終點ノ少シ先キガ船渠ニナルノデス「ドック」ノ即チ船ノ著
ク所、ソレデアリマス、主用部ハ南ニアリマスガ、北ニモ亦鐵道ガ要リ
マス、加ヘルニ工藤君ハ能ク御承知デ、アノ淀川ヲ附換ヘテ、安治川其モ
ノガ全體「ドック」ニナルノデス、是ハ六千噸ノ大船ヲ入レル「ドック」デハナ
イガ「ドック」ニナル、サウスルト官線ト港トノ聯絡ハ是非ト云ツテハ言過ギ
ルカ知ラヌガ、西成ノ一部分カラ一方ハ北岸ニ沿ウテ進ミ、一方ハ安治川ヲ上
流デ渡ッテ南岸ノ港灣地ヘ達スルト云フノガ、先ヅ適當ナ計畫ト認メラル、次
第デアル、ソレ故ニ又一方カラ言フト、ドウモ大阪ニ出入スル貨物ノ集散ハ、
先ヅ官線ニ依ルノガ相當ナ所ト思ヒマス、ソレ故ニ西成ガ此買收法案ニ掲ゲ
テアル次第デス

○恆松隆慶君(二百四十三番) 前委員ニ託センコトヲ望ミマス

○工藤行幹君(二百七十九番) 恆松君ノ如クサウ議事ヲ急レテハ困ル、默ッ
テ居タマヘ

(政府委員大藏省主計局長法學博士阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 株券ヲ買入レルト云フ條ヲ設ケマシタノハ、第五
條ト同シヤウニ豫備ノ簡條ニテ會社ガ協議ノ上デ、非常ニ高イ値段ヲ云ヒ、
市場ノ株券ノ相場ヲ見ルト、會社ノ申スヨリ非常ニ安イ場合ニ云フ、是ハ
ドウシテモ談判上ニ於テ、政府ガ或ハ株ノ市場デ買ッタガ利益ト云フコト
ガアリマス、サウ云フ場合ニ此簡條ガナイト買入ガ出來マセヌカ、此豫備
ノ條トシテ設ケマシタノデ、無論協議ガ整ヘバ此簡條ハ必要ガナラ、此買入
ニ附イテノ際ニ於テ、第六條ノ公債募集金ヲ以テ充テマスガ、其豫算ハ固ヨ
リ現金デアリマスカラ、之ニ對シテ相當ノ豫算ヲ求メナケレバナラヌ
○工藤行幹君(二百七十九番) モウ一應今ノ續ヲ、此豫算ト云フノハ即チ此

鐵道國有ノ第二條ニ基イテ、コソノ箇條ニ依テアルノデゴザイマスルガ、他ノ豫算ニ組ミマスルカワレヲ疑フ、第二條ニ「公債證書ヲ發行シ鐵道會社ニ買收代價トシテ額面ヲ以テ」ト云フコトデアッテ、サウスルトドウシテモ是ハ第一條ニ「隨時法律ヲ以テ定ム」トアルカラ、其時ニハ必ズ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌ、然ルニ第四條ニハ「本法ニ規定ナキモノハ云々」トアルガ、矢張豫算ニ組ンデ別ニ額ヲ定メテ、第一條ニ依ッテ議會ノ協賛ヲ經ルノデアルカト云フコトヲ、詳シク聞キタイ、ソレカラモウ一ツ今政府ノ言フノハ、此「必要」ト云フコトヲ、政府ト會社ト協賛ノ調ハヌトキト仰シヤル、然ラバ矢張第五條ノ如ク「會社ト買收ノ議調ハサルトキハ」ト書イテ宜カリサウナモノダノニ、第四條ニハ「政府ハ必要ト認ムルトキ」ト云フ其必要ト認メルト云フ區域ハ甚ダ廣イカラ、敢テ會社ト承諾ニ承諾ニ拘ラヌ文句ノヤウニ見エ、然ルニ若シ會社ト買收ノ議調ハヌトキト云フナラバ、矢張第四條ニモサウ書キサウナモノヲ、唯必要ト書イタノハ何カ深キ意味ガアルカト云フコトヲ承リタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答ヲ致シマス、前ノ公債證書ヲ發行シテ會社ニ交付致シマス場合ハ、是ハ現金ノ勘定デハゴザイマス、此法律ノ效力ニ依リマシテ別ニ豫算ナシニ遂行致シマス、ソレニ對スル公債ノ利子ヤ手数料等ノコトハ、固ヨリ協賛ヲ經マス、公債證書ト株券ノ交換ニ就イテハ是ハ現金ノ計算デゴザイマセヌカラ、別ニ議會ノ協賛ヲ求メマセヌ、ソレカラシテ「必要ト認ムルトキハ」ト云フコトハ、別ニ意味ハナイノデ、即チ此五條ノ場合ハ極ニ是ハ極テ會社ト協賛ノ非常ニ調ハヌトキニ、是ハマア極端ノ場合ヲ申シタノデアル、第四條ノ方ハソレ程ハナクテ、市場ノ工合ニ依ッテハ或ハ政府ガ買ウ必要ガアルカラ、少シ意味ガ廣イ、併ナガラ此點ニ附イテノコトハ、御議論ニ涉リマスルデ何レ、委員會デ十分御議論ハ承リマス

○工藤行幹君(二百七十九番) イヤ議論ハ致シマセヌ、チヨット唯モウ一ツ確メテ置キタイ、株券ヲ買フノハ政府ノ自由ニアルノデ、議會ノ協賛ヲ經ヌノデゴザイマス、明ニ承リタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 株券ヲ買フノデ……

○工藤行幹君(二百七十九番) エー

○政府委員(阪谷芳郎君) 第四條ニ依ッテ株券ヲ買フ場合ニハ、是ハ現金ノ支出ヲ要シマスルカラシテ、議會ノ協賛ヲ要シマス、即チ此百万圓買フトカ二百萬圓買フトカ云フコトハ、先ツ以テ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌ、ソレカラ公債證書ヲ發行シテ株券ト交換スル場合ニハ、既ニ法律ガ規定シテ居リマシテモ、規定ニ依ッテ別ニ協賛ハ求メマセヌ

○星松三郎君(二百八十三番) 私モ御尋致シタイノデゴザイマスルガ、此第二條ノ「買收ノ費額ハ二億圓以下トシ向フ十箇年間に是ガ買收ヲ了ス經濟上ノ狀況ニ依リ前項年間に買收ヲ了スル能ハサルトキハ政府ハ之ヲ伸長スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ政府ハ其ノ旨ヲ帝國議會ニ報告スヘシ」斯様ニゴザイマスルガ、此十箇年ト云フ制限ハ私共ノ考デハ、買收費額ハ二億圓以下ト向フ十箇年間に買收ヲ了メタノハ何レノ點ニアルカ、十箇年ト定メテ置キナガラ、此第二項買收ヲ了シ能ハザルトキハ、政府ノ伸長スルコトヲ得ルト云フ取除法ガアル、何ノ用モ爲サヌノデアル、若シ年間ヲ限

ラズシテ永イ内ニ買入レルコトデアレバ、或ハ適當ノ相場ニ買入レラレルカモ知レヌ、然ルニ年限ヲ定メテ而シテ此年限ヲ延期スルコトハ、餘程苦痛ヲ感ゼラタ議案ト見ラレル、其次ニ此年限ノ十箇年トシタ事柄ハドウカト云フコト、ソレカラモウ一ツ、ソレハ先刻モ段々第五條ニ附イテ何某カラモ尋ガアツタガ「政府ハ其ノ線路ニ代ハルベキ鐵道ヲ敷設スルコトヲ得」ト云フ、是等ノ文字ヲ加ヘルコトハ、恰モ誰モ此法文ト云フモノヲ眞面目ニ見ルモノハナカラウト思フ、是ハ虛囑即チドチラデモ之ヲ書ケルゾヨト云フコトヲ唯示スダケニ止マッテ居ル、即チ買入レル便宜法トシテ斯ノ如キモノヲ設ケタコトモ、即チ苦ミノ一ツナリト見レバ差支ナイガ、若シ之ガ眞面目デ斯ノ如クヤルナラバ、是人權ニ非常ナ關係ヲ有ツ、既得權ニ非常ナ害ヲ有ツモノト言ハナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ方カラ往クト、此何レノ條項デモ實ハ苦シ紛レ誠ニドウモ仕様ノナイモノニナッテ居ルト思フ、第四條ニ於テ政府ハ必要ト認ムルトキハ會社ト株券ヲ買フ、サウスルト廉イトキハズンノ買入レテ往カウト云フコトニナル、サウ云フヤウナ事柄デアルトセバ、政府ノ眞意ハ全ク國有鐵道ト云フモノハ、輿論ニ動かサレテヤツタト云フヤウナ、遞信大臣ノ御答デアツタヤウニ思フガ、其輿論ト云フモノハ國民多數ノ輿論デアルヤ否ヤト云フコトハ、大ニ疑ハザルヲ得ヌノデアル、實際此私設鐵道買收ノ案ヲ見ルト、實ハ苦シイ、即チ此案ヲ出スニ附テハ餘程ドウモ、是ハ難產ヲシタ所ノ案ダラウト思レルノデアル、ソレデ私ガ大ニ疑フ所ハ、十箇年トアツテ其ノ上ニ經濟上ノ狀況ニ依リ云々ト云フナラバ、寧ロ十箇年ヲ除イテ經濟上ノ都合ニ依ッテハ、何レノトキデモヤルコトガ出來ルヤウニ、年限ヲ定メヌノガ抑、買收スル上ニ對シテハ必要デハナイイカ、然ルニ十箇年トシタハ何等ノ故デアルカ、次ニハ株券ヲ買入レルコトハ一方ハ議會ノ協賛ヲ要求シ、アリナガラ、一方ニ於テハ廉イトキヲ待ッテ居ルト云フヤウナ、是ハ一人ハ爲シ能フコトデアルガ、政府ノ爲シ能フモノデアルヤ否ヤ、之ヲ御聽申シタイ、ソレカラ唯今申シタ通ノ譯デアツテ、之ヲ眞面目ニ解釋シタナラバ、何ト見ラレルカト云フタナラバ「議調ハサルトキハ政府ハ其ノ線路ニ代ハルベキ鐵道云々」ト云フコトハ、取モ直サズ虛囑デアル、コチラデ若シ買ラナカッタナラバ、コチラデ斯ウ云フ鐵道ヲ敷クト云フコトハ、痴癡者ニラズンバズ云フ分ラヌ算盤ヲ執ルモノデナイ、若シ政府ニ斯ル意思ガアルトスレバ、國有案ヲ出スヨリモ寧ロ直チニ敷設法案ヲ出シテ決スル方ガ宜カラウト思フ、併ナガラ此案ヲ出スニ就イテハ十分ニ御考ハアリマセウカラ、一應御趣意ヲ聽キタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 政府ハ此國有論ヲ輿論ト認ムルノカドウカト云フ御尋デゴザイマスルガ、固ヨリ輿論認メテ居ルノデ、即チ衆議院カラ建議セラレ、尙國有調査會ニ於テ慎重ナル調査ヲ經タノデ、之ヲ輿論ト認メズンバ輿論ハナイ譯ニナル、而シテ國有調査會ノ報告ニ依リマスルコト云フト、一人ノ國有ヲ非トスル論者ハナカッタノデ、中ニハ即チ此脅迫買收マデモ希望シタ論者ガアツタ位デアル、而シテ其時期ニ就イテ大ニ論ガアリマシタ故ニ、政府ニ於キマシテモ其議論ヲ容レテ此第二項ト云フモノニ、伸長スルコトヲ得ト云フ箇條ヲ入レマシタノハ、如何ナル場合ニモ如何ナル時變ガ起ッテモ十年ノ内ニ買ハナケレバナラヌト云フコトハナシ能ハヌコトデアル、即チ此

時期ヲ限リテ是非此中ニ買ハナケレバナラヌト云フコトハ、ナシ能ハヌコト
デアル、故ニ經濟上ノ狀況ニ依ッテハ、延バ得ルコト云フコトヲ入レテアルノ
デゴザイマス、又此四條五條ト云フモノハ、政府ノ爲メ所爲デアルマイト云
フ御尋デアリマスルケレドモ斯ノ如キ大ナル鐵道ト云フモノヲ整理シナケレ
バナラヌ場合ニ於テハ、餘程政府ニ權力ヲ委任シテ置イテ貰ハヌト云フコト、ナ
カナカ廉價ヲ買フ譯ニハ往カナイ、若シ非常ニ高價買ハバ鐵道ノタメニ、國民ガ
租稅ノ負擔ヲ増サネバナラヌト云フ結果ニ陷ラヌト云ヘヌコトニナリマス
ルカラ、國家ノ負擔ヲ増加セズシテ國會ノ目的ヲ達スルコト云フ考カラ、四條五
條ヲ附加シテデアリマス

○工藤行幹君(二百七十九番) 唯今政府委員ノ御答ニハ、此株券ヲ買フコトキ
ニハ現金デアルカラシテ、豫算デ協賛ヲ求メルト云フコトヲ承リマシタガ、モ
ウ一ツ確メテ置キタイコトハ、若シ政府デ是マデ或ハ勸業債券ニ應ジタ如ク、
償金ノ内ノ残りハ特別會計ニナツテ居リマスカラ、彼等ノモノヲ以テ買フコ
トハナイト云フコトデゴザイマス、若シヤ特別會計ノ金デ以テ議會ニ豫算
ノ協賛ヲ得ズシテ、政府ガ買フ場合ガアリハセヌカト云フ心配ガゴザイマス
カラ、確ニ致シテ置キタイ、特別會計ナドノ金ヲ以テ政府ガ買フコトハナ
イデゴザイマス

○政府委員大藏省主計局長法學博士阪谷芳郎君(演壇ニ登ル)
計ニハ關係シナイコトデ、第六條ノ財源ヲ以テ買フコト書イテアリマス、特
別會計ニハ少モ關係シナイ

○星松三郎君(二百八十三番) 唯今政府委員ノ御答ニ依ルト云フト、第六條
ノ「前二條ノ場合ニ於テ其ノ財源ハ鐵道公債募集金ヲ以テ之ニ充ツ」トアルカ
ラハ、募集ノ出來ナイトキニハ株券ヲ買入レルコトガ出來ヌト云フ場合ニナ
ルカラウト思フ、モウ一ツ次ニ御尋致シマス、第四條ノ「政府ハ必要ト認
ムルトキハ云々」ト云フト、筋道ガ立ッテ居ルヤウデアルガ、甚ダ是ハ宜クナ
イコトデアル、如何トナレバ政府ガ買入レルコト云フコトガ知レナイナラ宜
イガ、知レルニ極ッテ居ル、知レタラ固ヨリ高クスル、サウスレバ市場ノ攪亂
ヲ爲スコトハ固ヨリコトデアルノミナラズ、政府ガ廉價買ハフトシテ必ズ
廉價買フコトノ出來ヌハ明ナコトデアルカラ、斯様ナ無用ナモノヲ茲ニ置ク
ヨリハ、モウ一步進ダ考ガナケレバナラヌト思フ、ソコデ第六條ト云フモノ
ニ依ッテ、第四條ノ事柄ヲナシ得ルトセバ、鐵道公債募集金ナラデハ此事ヲ爲
シ得ルコトハ出來ヌト思フガ、其前ニ廉價買入ルコトヲ買入レルヤ否ヤト
云フコトヲ尋ネタイ、其邊ノ所ハ如何デゴザイマス

○政府委員大藏省主計局長法學博士阪谷芳郎君(演壇ニ登ル)
○政府委員(阪谷芳郎君) 固ヨリ第六條ニ明文ノアリマス通デ、公債募集金
ヲ財源トシテ買フノデアルカラ、募集金ガナケレバ買フコトノ出來ナイト云
フコトハ無論ノコトデアル、ソレデ今ノ星君ノ御論ハ四條ニ附イテハ御質
問デハナイト思ヒマス、是ハ委員會デ十分御議論ヲ承リマス、政府ハ之ヲ必
要ト認メマス
○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第四ニ移リマス、是ハ恆松隆慶君ノ動
議ガアリマシテ、鐵道國有法案ノ委員ニ付託スルコトニ異議アリマセヌカ

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程第五漁業法
案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第五 漁業法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

漁業法案

- 第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水產動植物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ
- 本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及免許ヲ受ケタル漁業權ヲ享有スル者ヲ謂フ
- 第二條 私有水面ニ於テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス
- 私有水面トハ官有水面ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノ及公共團體並私人ノ所有ニ屬スル水面ヲ謂フ
- 第三條 左ニ掲ケタル漁具又ハ方法ヲ以テ漁業ヲ爲サムトスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ
- 一 建網、臺網又ハ壺網ニシテ碇、支柱又ハ浮子及沈子ヲ以テ身網及垣網ヲ設クルモノ(練建網、鮑臺網、鯽臺網、鯽建網、根拵網、大敷網、四艘張網、三艘張網、越中網、壺網、瓢簞網、地獄網、器械網、掛網ノ類)
- 二 地引網、瀨引網又ハ地漕網ニシテ引揚場又ハ繰寄場ヲ一定スルモノ
- 三 簀立、エリ、羽瀨又ハ八重簀ニシテ網、簀又ハ竹木ヲ以テ垣及魚溜ヲ設クルモノ
- 四 築、鉋留、罾留又ハ仕切網ニシテ堰堤、簀又ハ網ヲ以テ河川ノ全部若ハ一部ヲ遮斷スルモノ
- 五 水面ヲ區劃シテ餌誘、「スクモ」又ハ立切ヲ爲スモノ
- 六 沿海ニ於テ漁場ヲ一定シテ捕鯨ヲ爲スモノ
- 七 種取場、種蔭場又ハ生育場ヲ一定シテ魚介ヲ養殖スルモノ
- 八 築立ヲ爲シテ海苔ヲ採取スルモノ
- 九 前各號ノ外勅令ヲ以テ指定シタル漁業
- 第四條 區域ヲ限リタル根拵付漁業又ハ種川ノ設置ヲ爲サムトスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ
- 前項ノ免許ハ地元漁業組合ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス
- 根拵付漁業ノ種類ハ主務大臣ノ指定ス
- 第五條 漁業免許ノ期間ハ二十箇年以下トス但シ第八條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ免許期間ニ算入セス
- 免許期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得
- 第六條 免許ヲ受ケタル漁業權ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス
- 漁業組合ニ於テ第四條ノ免許ヲ受ケタルキハ其ノ漁業權ヲ處分スルコトヲ得ス

相續ニ因リテ漁業權ヲ取得シタル者ハ其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ
第七條 免許ヲ受ケタル漁業權ハ免許ノ日ヨリ一箇年間之ヲ行使セサル
キハ消滅ス引續キ二箇年間之ヲ行使セサルトキ亦同シ
漁業權ノ讓渡、貸付又ハ相續アリタル場合ニ於テハ其ノ前後ノ期間ハ之
ヲ通算ス

第八條 行政廳ハ水產動物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルト
キハ免許ヲ制限シ若ハ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得
免許ヲ受ケタル漁業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違背シ
又ハ公益ヲ害スルノ所爲アリト認ムル場合亦前項ニ同シ

第九條 漁場ノ區域又ハ方位ヲ標示スル爲標識ノ建設ヲ必要トスルトキハ
他人ノ占有スル土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ漁業者ハ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スル
コトヲ得

第十一條 前二條ノ場合ニ於テ他人ノ占有スル土地ニ立入り又ハ之ヲ使用
スルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ニ對シ償金ヲ拂フヘシ

第十二條 行政廳ハ水產動物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要ト認ムル
トキハ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一 水產動物ノ採捕若ハ販賣ニ關スル制限又ハ禁止
二 漁具、漁船若ハ採捕ノ方法ニ關スル制限又ハ禁止
三 漁業者ノ數又ハ其ノ資格ノ制限

前項ノ命令ニハ漁具及漁獲物ノ沒收ニ關スル罰則ヲ設クルコトヲ得
第十三條 前條ノ規定ニ依ル命令ハ漁業者ニ非サル者ニモ之ヲ適用スルコ
トヲ得

第十四條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ一
定ノ區域内ニ於ケル工作物設置ノ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコ
トヲ得

工作物カ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所
有者ニ除害工事ヲ命スルコトヲ得

第十五條 前條第二項ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物
ノ所有者ニ對シ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除
害工事ヲ命シタルトキハ其ノ補償金ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者
之ヲ負擔スヘシ

第十六條 行政廳ハ水產動物ノ蕃殖保護ニ必要アリト認ムルトキハ公有
水面ニ通スル私有水面ニ前四條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十七條 漁夫及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十八條 一定ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ水產動物ノ蕃殖保護及
共同ノ利益ノ爲漁業組合ヲ設置スルコトヲ得

第十九條 從來ヨリ一定ノ區域アル濱、浦、漁村其ノ他漁業者ノ部落ニ於テ
ハ其ノ區域ニ依リ漁業組合ノ地區ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外漁業組合ハ市町村又ハ之ニ準スヘキモノノ區域以
内ニ於テ其ノ地區ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由ニ因リ其ノ區域ニ依リ難キ
トキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 漁業組合ヲ設置セムトスルトキハ其ノ地區内ニ於テ組合員タル
ヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ行政廳
ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 組合地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ總テ其ノ組合ニ加入スヘ
シ但シ行政廳ニ於テ漁業ノ種類ニ依リ組合ニ加入スルノ必要ナシト認メ
タル者ハ此ノ限ニ在ラス

行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ左ノ各號ニ該當スル者ヲシテ組合ニ加
入セシムルコトヲ得

一 組合地區内ニ住所ヲ有シ漁業ト密接ノ關係アル營業ヲ爲ス者
二 組合地區内ニ漁業ノ根據地ヲ有スル組合地區外ノ漁業者

三 組合ノ地先水面ニ於テ免許漁業ヲ爲ス組合地區外ノ漁業者
第二十二條 漁業組合ハ漁業ノ免許ヲ受クルコトヲ得但シ自ラ漁業ヲ爲ス
コトヲ得ス

第二十三條 漁業組合ニ於テ漁業ノ免許ヲ受ケタルトキハ定款ノ定ムル所
ニ依リ其ノ組合員ヲシテ漁業ヲ爲サシムヘシ

第二十四條 漁業組合ニ關シテハ前數條ニ掲ケタルモノヲ除クノ外重要輸
出品同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬スル職權ハ行
政廳之ヲ行フ

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ義務者ニ於テ履行ス
ヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラズト認ムルトキハ行政
廳ニ於テ自ラ之ヲ施行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ施行セシメ其ノ費用ハ國
稅徵收法ノ例ニ依リ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス
第二十六條 漁業免許ノ許可ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者又ハ第六條第八
條若ハ第十四條第二項ノ行政處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコト
ヲ得

前項ノ場合ニ於テ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスル
者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條 第十五條ノ補償金額ニ對シ不服アル者ハ補償金額ノ通知ヲ受
ケタル日ヨリ三十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十八條 免許ヲ受ケス又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違背シテ第三條又ハ
第四條ノ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス免許ノ停止中漁業ヲ
爲シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ漁具及漁獲物ヲ沒收ス
第二十九條 漁場ノ標識ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ
處ス

附 則
第三十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 本法ノ規定ハ臘虎臘獸獵法ノ效力ヲ妨ケス
第三十二條 本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ因
リ第三條ノ漁業ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ出願スルトキハ
之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ニ依リ免許ヲ出願シタル者ハ其ノ免許ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ
トキハ此ノ限ニ在ラス

依り漁業ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ期間内ニ免許ヲ出願セサルトキハ出願期間満了ノ日ニ於テ從前ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

本法施行前北海道ニ於テ漁業ノ免許ヲ受ケ第三條ノ漁業ヲ爲ス者ハ本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做シ其ノ免許期間ハ第五條ノ期間内ニ於テ北海道廳長官之ヲ定ム

第三十三條 從來ノ慣行ニ因リ本法施行前ヨリ第三條又ハ第四條ノ漁業ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ニ依リ免許ヲ出願シタル者ハ其ノ免許ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得
第一項ノ期間内ニ免許ヲ出願セサルトキハ出願期間満了ノ日ニ於テ其ノ漁業權ハ消滅ス

(政府委員農商務省水產局長牧朴眞君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧朴眞君) 漁業法ハ昨年議會ニ提出セラレマシテ、貴族院ニ於テハ修正ノ上可決サレマシタ、本院ニ於テハ不完備ノ點ガアルト云フコトヲ以テ、否決ニナリマシタコトデゴザイマス、爾來農商務省ニ於キマシテハ尙ホ能ク取調ヲ致シマシテ、傍ラ地方官ノ意見モ聞キマシテ、更ニ能ク不完備ノ點ヲ補ヒマスルガタメニ、鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ取調ベマシタコトデゴザイマス、殊ニ今般ハ貴族院ニ於テモ餘程研究討論セラレマシタ上ニ、多數ノ修正ニナリマシタノデゴザイマスガ、其修正ニナリマシタコトニ附キマシテハ、政府ハ總テ同意ヲ致シマシタコトデゴザイマス、右等ノ都合デアリマスルカラ、此本案ハ御審議ノ上速ニ御贊同ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○多田作兵衛君(百二十九番) チョット伺ヒマス、唯今ノ御辯明ニ依リマスルト、貴族院ノ修正ニ全ク同意致シタト云フコトダト信ジマスガ、此法案ガ一度貴族院ニ出デマシテヨリ、地方ノ漁業者ガ非常ニ氣遣ヲ致シマシテ續々出京等モ致シマシタ、其各地ノ漁業者ノ氣遣ヲ致ス所ノモノハ、舊來ヨリ受ケ得テ居ル所ノ漁業ノ區ノ權利デゴザイマス、コレガ新法ニ於テハ破壊サレルモノデアルト云フコトニ附イテ、非常ニ氣遣ヲ爲シテ居リマスガ、此貴族院ノ修正ヲ唯今勿卒ノ際讀ンデ見マスレバ、第一條ノ二項目デ「免許ヲ受ケタル」ト云フコトガ削ッテゴザイマシテ「本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ享有スル者ヲ謂フ」此漁業權ト云フモノハ免許ヲ受ケタル漁業權モ、又舊來ヨリ受ケテ居ル所ノ漁業權モ併セテ云フモノト心得マス、コレカラ二十三條ニ新ナル簡條ガ加ハッテ居ル、此新ニ貴族院デ加リマシタ簡條ヲ讀デ見マスレバ、第三條及第四條ノ免許漁業權又ハ慣行漁業權ニ關シテ爭アルトキハ云々」是ガ即チ舊來ヨリ享ケテ居ル漁業權ト心得マス、例ハバ福岡縣ニ於テ志賀崎ト云フ地方ガ假ニアル、其志賀崎地方ハ何處ヨリ何處マデト云フ間、海上ヲ享有致シテ其處ノ者ニ限ッテ、漁業ヲ爲シテ居ル、之ガ舊來漁業區域漁業權デゴザイマス、是等ノ者ハ貴族院ノ修正ニ於テハ新ニ願出スシテ、舊來ノ權利ヲ得ルコト、心得マスガ、如何デゴザイマス
○政府委員(牧朴眞君) 左様デゴザイマス、チョット申上ゲテ置キマスルガ、此漁業法ノ第三條ハ即チ政府ノ提出案並ニ貴族院ノ修正ニ於キマシテ

モ、其意味ノ變ッテ居ルコトハゴザイマセヌ、即チ漁具ヲ定置シ又ハ場所ヲ區劃スル漁業ハ免許ヲ受ケルト云フコトニナッテ居リマス、其他ノ漁業ハ總テ是マデノ通漁業ヲシマスルコトハ差支ヘマセヌ積デゴザイマス、故ニ唯今御質問ノゴザイマスル通第二十三條ニ「慣行漁業權ニ關シテ爭アルトキハ」ト書イテゴザイマスル、一般ノ慣行漁業權ニ於キマシテハ、是マデノ通此第三條ノ漁業ヲ除ク外ハ別ニ願出ル必要ハナイ、是マデ通漁業致シテ宜シイト云フ趣意デゴザイマス、併シ其慣行漁業權ニ附イテ雙方爭ガゴザイマスルトキハ、即チ第三十三條ニ依ッテ地方長官ノ裁決ヲ求メルト云フコトニナッテ居リマス、更ニ是マデ慣行漁業權ニ附キマシテハ、更ニ此法律ノタメニ變更ヲ來スコトハアリマセヌデアリマス、丁度御尋ネノ通ニナリマス

○多田作兵衛君(百二十九番) 貴族院ノ特別委員會通ニ筆記ヲ見ナケレバ――筆記ヲ讀マズニ置キマシタダ、此免許ヲ受ケタルト云フ四字ヲ削リマシタノハ――六字ヲ削リマシタノハドウ云フ譯デ貴族院ガ削ッタノデアリマスカル者ニハ、普通申シマスレバ所謂漁業ヲ爲ス者ノ外ニ、漁業權ヲ持ッテ漁業權ヲ貸付ケル場合、サウ云フ場合ヲ即チ漁業權ヲ享有シテ居ルト云フコトニナル、又唯今御質問ノゴザイマスル所ノ慣行漁業權ト云フコトニ致シマシテモ、其漁業ヲシマスル者モ矢張漁業者デアル、免許ヲ受ケル者モ漁業者デアル、免許ヲ受ケナイ慣行漁業者モ矢張漁業者デアル、然ラバ別ニ免許ヲ受ケタルト云フ文字ヲ書ク必要ハナイノデハナイカト云フノデ、免許ヲ受ケタルト云フ文字ハ削除サレマシタ、丁度御質問ノ通デ

○橋元昂君(四十八番) 此漁業法ト云フ大體昨年御提出ニナリマシタモノト本年御提出ニナリマシタモノトハ大變ニ違ッテ居ルノデ、昨年ハ慣行ノ漁業ト云フモノハ一切其慣行ヲ認メルト云フ趣意デ、即チ御編成ニナリマシタ所ノ法案デアリマシタ、然ルニ本年御提出ニナリマシタ所ノ法案ハ、慣行ノ漁業モ新ニ出願スル所ノ漁業モ、即チ此漁業權ト云フモノガ二十箇年ト云フコトニ制限ヲ置カレマシタノデアル、サウシマスト從來ノ慣行ト云フモノハ、此法案ニ依ッテ全ク破壊セラル、モノト云ハナケレバナリマセヌ、又二十箇年ト云フ制限ヲ置キマシタト云フ所ノ趣意ハ、如何ナル趣意デアリマスルカト云フコトヲ、一ツ御尋シタイ、コレカラ次ニ貴族院ノ修正デアリマスルガ、私有水面ト云フモノニ於テハ、本法ノ規定ヲ適用セヌト云フ、是ハ固ヨリ當リ前デアリマセウ、サウスルト云フト、即チ私有水面ニ於テ漁業ヲ爲スト云フコトニ至ッテハ、此漁業法ト云フモノ、制裁ヲ受ケナイト、斯ウ云ハナケレバナラヌ、而シテ此第十六條デアリマス、此第十六條ニ於テ公有水面ノ通ズル所ノ私有水面ニ、右四條ノ規定ヲ適當スルコトヲ得ルト云フ規定ガゴザイマス、デ公有水面ニ通ズル私有水面ト云フノハ、或ハ一方ニ公有水面ガアッテ一方ニ私有水面ガアル、其間通ズル所ノ河ガアルトカ、何トカ、免ニ角水ノ通ジテ居ルト云フコトニマア解釋ヲシテ居リマスガ、サウ云フ水面ニ於テハ即チ此前四條ト云フモノヲ適用シテ、漁業ヲ禁ズルコトモ出來ル、又制限ヲスルコトモ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、果シテ蕃殖ヲ害スルト云フヤウナ事柄ガアッテ、其漁業ヲ禁ズルト云フコトハ、別段私ハ疑フ存シマセヌガ、此場合ニ於テ私有水面ニ於テ自分ガ漁業ヲスルコトヲバ、第二條ノ規定ニ依ッテ適用セヌナラバ、勝手ニ出來ルモノヲ何故ニ政府ガ之ヲ禁ジ

テ、補償金ヲ與ヘスト云フコトニシテアリマスルカ、是ハ補償金ヲ與ヘルノ必要ガ果シテ政府ニナイト云フナラバ、如何ナル理由ヲ以テ、補償金ヲ與ヘヌデ宜シイト云フ理由ヲ承リタイ

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマスガ、先ヅ二十箇年ノコトカラ申上デマスル、此年期ヲ設ケマシタコトハ、普通今日ノ民法上ノ賃貸借ノコトニ附キマシテモ、長期ガ二十箇年ニナツテ居ル、此漁業ニ於キマシテハ、是マデ成ル程無年期ニ於テ、漁業ヲ致シテ居リマスル者モアリ、又期限ヲ限ツテ漁業ヲ致シテアリマスル者モゴザリマス、免ニ角公有水面即チ國ノ有シテ居ル所ノ水面ニ於テ、漁業ヲシマスルコトデゴザリマスカラ、即チ期限ヲ切ツテ漁業ヲサセル免許ヲ施行フト云フコトガ至當デアル、就イテハ即チ民事上ノ賃貸借ノ方ニ依ツテ、其期限ニ倣ツテ二十箇年ト期限ヲ切ルガ宜シイ、併ナガラ是マデ既ニ無年期デ漁業權ヲ持ツテ居ルガ如キモノハ忽チ差支ヲ生ズルデアラウ、先年是等ノコトガ貴族院ノ議案ニ出シタメニ、地方ニ於テハ大ニ紛議ヲ生ジマシタヤウナコトモゴザリマスルガ故ニ、本案ニ於テハ即チ其年期ニ至レバ更新スルコトヲ得ル、免許期限ガ更新スルコトハ得ルト云フコトガ書イテアリマス、故ニ二十箇年ガ過ギマスレバ又更ニ其期限ニ漁業ヲシマスル者デゴザリマスレバ、其期限ヲ更新スル、即チ繼續スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナリマスルノデゴザリマスカラ、事實ニ於キマシテハ年期ヲ切リマシテモ、矢張年期ニ於テハ矢張漁業ヲスレバ繼續シテ往カレルノデゴザリマスカラ、實際上ニ決シテ差支ナイト云フ考デゴザリマス、ソレカラ此私有水面ノコトデゴザリマスル、是ハ元來普通ノ業デゴザリマスレバ、斯ウ云フコトハ私有モ公有モ總テ適用スルガ當リ前ノコト、現ニ理窟ノ事デゴザリマスレバ、狩獵法ノ如キハ私有ノ仕方、公有ノ仕方、總テ同一ニ施行シマスルノデ、併シ此漁業法ニ於キマシテハ、私有水面ニハ此漁業法ヲ適用シナイト云フ原則ト致シマシタ、併ナガラ保護蕃殖唯今御質問ニナリマスル所ノ第十六條ノ如キ保護蕃殖ノ點ニ於テ、ドウシテモ此水產物ヲ保護蕃殖スルガ必要デアルト云フ場合ニ於テ、其公有水面ト私有水面ト相聯絡ヲ致シテ居ルト云フ場合ハ、申シマスレバ蕃殖保護ヲ圖ル所カ不當デナイト云フコトハ、別問題ト致シマシテ、印旛沼ノ如キ琵琶湖ノ如キア、云フ湖水ニ於キマシテ、保護蕃殖ヲ圖ルガタメニ禁止制限ニシナケレバナラヌ、禁止制限ノ命令ヲ出サネバナラヌト、斯ウ云フ場合ニ於テ、一方ノ公有水面許リニ禁止制限ヲ致シタ所ガ、他ノ私有水面ニ禁止制限ヲシナケレバ、蕃殖保護ノ目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、故ニ此場合ニ於テハ即チ公益上ノタメニ必要アルガ故ニ、無償ニシテ此法ヲ施行スルコトハ蕃殖保護ノタメニ必要デアラウト云フ考ヲ以テ、編成致シマシタノデゴザリマス、此條ニ於キマシテハ御承知ノ通ニ、矢張昨年ノ法案ニ於キマシテモ此通ノ條ハゴザリマスルノデ、是デ一ツ御承知ニ願ヒタイ

○橋元最君(四十八番) 第五條ノ二項ニ、即チ「免許期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得」ト云フノハ是ハ何デゴザリマスカ、先キニ免許ヲ得テ居リマシタ所

ノ者ニ向ツテ、更ニ二十箇年ト云フ所ノ期限ヲ即チ政府ガ許スト云フ意味デゴザリマスルカ、私ハ此第五條ノ趣意ハ二十箇年ト云フ制限ガアリマスル以上ハ、二十箇年經テマシテ、サウシテ更ニ政府ニ願出ル者ガ一人ナレバ差支アリマセヌケレドモ、數人アル場合ニ於テハ必シモ前ノ者ニ之ヲ許サナケレバナラヌト云フコトハ、此法律上ニ於テハ一向イケナイヤウデアル、併ナガラ政府ハ此第二項ハ即チ前ノ免許者ニ向ツテ、必ズ許スト云フ精神デゴザリマスルカ、之ハモウ一遍確メテ置キタイ、ソレカラ十六條ノ即チ私有水面ニハ、決シテ其補償ヲスルコト云フ必要ガナイト云フ理窟ハ分ラヌノデアル、即チ私有水面ト云フノハ田地ノ灌漑ノタメ重ニハ池沼デアル、其池沼ト云フモノハ民有地ノ第二類デ租稅ヲ納メテ居ルモノデゴザリマス、其租稅ヲ納メテ居ル者ニ向ツテ政府ガ幾分カ制限ヲスル、其制限ヲスルモノニ向ツテ人民ニ補償ヲ與ヘヌデモ差支ナイト云フ理由ハ、私ハ見出スコトガ出來ヌガ今一應承リタイ

○政府委員(牧朴眞君) 第五條ノ御尋デアリマシタガ「免許期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得」ト云フノハ、即チ前ニ願ツテ居リマス者ニ其者ニ對シテ期限ガ切レタ時ハ、期間ガ更新スルコトヲ得ト云フ文面デ、本案ノ趣意モ其趣意デ、又貴族院ニ於テモ矢張其趣意ヲ以テ、此通可決ニナリマシタコトデゴザリマス、又第十六條ノ私有水面ニ通ズルモノニ限ツテ蕃殖保護ノ禁止制限ヲ爲スト云フコトハ、其水面ニ於テ公有水面ニ於テ蕃殖保護ヲ爲スガタメニ禁止制限ノ必要ガアル、然ル處或ル私有水面ニ聯絡シテ居ツテ、爲ニ本目的タル蕃殖保護ヲ圖ルコトガ出來ナイ場合ニ於テハ、已ムヲ得ズ公益上ノ必要ノタメニ他ノ私有水面ニ通ズル部分ニモ、禁止制限ヲ爲スト云フコトハ公益上……

○橋元最君(四十八番) 其補償ヲシナイト云フ理窟ガ承リタイ

○政府委員(牧朴眞君) ソレハ宜シイト云フ考デゴザリマス、其以上ハ御意見ニナリマス

〔「委員付託」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセネバ特別委員ノ選舉

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百四十三番) 此問題ハ地方ニ關係ヲ持ツテ居ルモノデアリマスカラ、十八名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ致シタイ

〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 十八名ノ委員ヲ選ムト云フ恆松隆慶君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

○恆松隆慶君(百四十三番) 此場合船川築港國庫補助ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザリマス、ドウカ御許ヲ願ヒタイ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ請求ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、鹽田忠左衛門君カラ産業組合法案ノ委員會ヲ開キタイト云フ、申出ガアリマス是モ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ是モ許スコトニ致シマス——議事日程第七蠶種検査法改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第七 蠶種検査法改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

蠶種検査法改正法律案

第一條 本法ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種及製絲用種ヲ謂フ

第二條 原種ハ框製ニスヘシ

第三條 蠶種ハ検査ニ合格シタル原種ヨリ產生シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス

第四條 蠶種ハ左ニ掲クル繭ヲ以テ之ヲ製造スルコトヲ得ス

一 二繭以上合同シテ作りタル繭

二 繭層片薄ナル繭若ハ形狀ヲ失スルコト著シキ繭

三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十、二化性ニ在リテハ七、多化性ニ在リテハ六ニ達セサルモノ

四 蠶兒ノ發育不良ニシテ收繭ノ量著シク減少シタルモノ

五 蠶種製造者ニ非サル者ノ飼育シタル蠶兒ヨリ產生シタル繭

第五條 蠶種製造者ハ検査ニ合格シタル原種ヨリ產生シタル蠶兒ニ非サレハ飼育スルコトヲ得ス

第六條 蠶種製造者ハ收繭後及產卵後ノ二期ニ於テ原種ニ在リテハ繭、蛾及卵、越年スル製絲用種ニ在リテハ繭及卵、越年セサル製絲用種ニ在リテハ繭ノ検査ヲ受クヘシ

第七條 原種ノ掃殼及第四條第一號乃至第三號ニ掲ケタル繭ハ收繭後ノ検査ヲ經ル迄之ヲ保存スヘシ

蠶種ノ製造ニ供用シタル繭及原種ノ製造ニ供用シタル母蛾ハ產卵後ノ検査ヲ經ル迄之ヲ保存スヘシ

第八條 検査ニ合格セサル蠶種ハ蠶種検査所ニ於テ直チニ之ヲ燒棄スヘシ

第九條 検査合格ノ證印ナキ蠶種ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

第十條 地方長官ハ蠶種検査員ヲシテ蠶種製造者ニ就キ養蠶、收繭及產卵ノ狀況ヲ觀察セシムヘシ

第十一條 蠶種検査員ハ自己若ハ家族ノ製造スル蠶種ノ検査ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ其ノ半額以內ヲ補充スルコトヲ得

北海道廳及沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第十三條 自家用又ハ學術研究ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニハ本法ヲ適用セス

第十四條 學術研究ノ爲製造シタル原種ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ検査ニ合格シタルモノト看做スコトヲ得

第十五條 自家用又ハ學術研究ノ爲製造シタル蠶種ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ前條ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 第三條乃至第六條第九條又ハ第十五條ニ違背シタル者又ハ蠶種検査員ノ職務執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第七條ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第十八條 本法ハ命令ヲ以テ指定スル地ニ之ヲ施行セス

第十九條 本法案ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員農商務省農務局長和田彦次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(和田彦次郎君) 現行ノ蠶種検査法ハ、御承知ノ如ク越年ノ蠶種ニノミ検査ヲ執行致シテ居リマス、本案ヲ提出致シマシタルハ越年ノ蠶種ノ外ニ、不越年ノ蠶種ニマデ検査ヲ執行シタイト云フ趣意ヨリ提出致シマシタル、現行法ヲ明治三十年ノ十號ヲ發布致シマシタル當時モ、夏秋蠶ニ向ッテ同様に検査ヲ執行致シタイト云フコトハ、當局者ニ於キマシテモ種々考ヘタコトデゴザイマスガ、其當時ハ検査ノ實績如何ト云フコトモ始デゴザイマスカラ、十分ニ分リマセズ、又検査員ニ充テマスル人モ十分デゴザイマセヌ故ニ、先ヅ産額ノ最モ多キ春蠶ニ對シテ検査ヲナシ、其結果ヲ見タ上ニ於テ時機ヲ圖ッテ夏秋蠶及シタイト云フコトデゴザイマス、然ルニ現行法實施以來數年ニ過ギマセヌケレドモ蠶種検査ノ結果ハ頗ル良好ナル治績ヲ擧ゲテ參リマシタ、而シテ今日夏秋蠶ヲ併セテ検査致シマスルニ、検査員ノ需要ノ點、供給ノ點ハ如何デアアルカト申シマスル、一向差支ナイコトヲ認メテ居リマス、而シテ民間營業者ノ意向ニ於キマシテハ、春蠶ノ検査ノ通夏秋蠶ニ向ッテモ同様ニ検査ヲ一日モ速ニ行ウテ貫ヒタイト云フ意向デ、現ニ第十三議會ニ於テ當院ヨリモ建議案ガ出テ居ル次第デ、且ツ各地方ノ實業團體其他農會ヨリモ切ニ希望サレマシテ、主務省ニ向ッテ再三再四建議モアリマスルシ、今日ハ準備ニ於テモ差支ナイト認メマスカラ、本案ヲ提出致シマシタ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 格別御尋問ガアリマセネバ、議事日程第八特別委員ノ選舉、是ハ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマセヌカ

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、次ハ議事日程第九工銀行法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

衆議院議事速記録第二十五號

明治三十三年二月十三日

蠶種検査法改正法律案 第一讀會

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

四九九

第九 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第六條第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ「四」ヲ「五」ニ改ム

四 耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ參加土地所有者總員カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ定期償還ノ方法ニ依リ無

抵當貸付ヲ爲スコト

第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二 產業組合法ニヨリ設立シタル無限責任ノ信用組合購買組合及生産組合ニハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

第二十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

農工銀行ハ日本勸業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勸業銀行ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

(政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 本案ヲ提出致シマシタルハ、農工銀行ノ貸付ノ區域ヲ擴張スルコトノ必要ヲ感シマシタガ一ツト、ソレカラ農工銀行ノ債券ヲ發行致シマスルニ附キマシテ、未ダ之ヲ十分ニ發行シ得マセヌカラ、從テ農工銀行ノ資産金ニ十分ナル供給ヲ與フルコトガ出來マセヌカラ、勸業銀行ト連絡ヲ附ケマシテ、地方ノ農工業ニ向ッテ其貸付資本ヲ潤澤ナラシメルタメニ、其途ヲ開キマスル趣意ノ條ヲ加ヘマシタ、序ナガラ申上ゲテ置キマ

スガ、其次ニゴザイマスル農工銀行補助法中改正法律案ノ改正モ、今申上ゲ

テ通ニ債券ノ發行ヲ十分ニ致スコトガ出來マセヌカラレテ、補助ノ年限ヲ延

シマスル必要ヲ認メマシタ、速ニ御協賛アラント望ミマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ議事日程ノ第九ト第十一トヲ併セテ、議題ニ供スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

○早川龍介君(二百八十四番) 第九第十一ヲ併セテ同一委員ニ議長ノ指名

デ、委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 第九ト第十一ノ日程ヲ併セテ議題トスルコトニ御異議

ガナケレバ、併セルコトニ致シマス

第十一 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(異議ナシト呼フ者アリ)

農工銀行補助法中左ノ通改正ス

第二條中「十箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム

第四條第一項中「五箇年」ヲ「十箇年」ニ改ム

第七條第一項中「十箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム

第十、第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○秋岡義一君(百十番) 是ハ前委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 農工銀行法中改正法律案ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス——議事日程第十三

行政執行法案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十三 行政執行法案(政府提出)

第一讀會

行政執行法案

第一條 當該行政官廳ハ泥酔者瘋癲者自殺ヲ企ツル者其ノ他救護ヲ要スト

認ムル者ニ對シ必要ナル檢束ヲ加ヘ戒器兇器其ノ他危險ノ虞アル物件ノ

假領置ヲ爲スコトヲ得暴行闘爭其ノ他公安ヲ害スルノアル者ニ對シ之ヲ

豫防スル爲ニ必要ナルトキ亦同シ

前項ノ檢束ハ翌日ノ日没後ニ至ルコトヲ得ヌ又假領置ハ三十日以内ニ於

テ其ノ期間ヲ定ムヘシ

第二條 當該行政官廳ハ日出前日没後ニ於テハ生命身體又ハ財産ニ對シ危

害切迫セリト認ムルトキ又ハ博奕醜業取締ノ爲ニ必要アリト認ムルトキニ

非サレハ現居住者ノ意ニ反シテ邸宅ニ入ルコトヲ得ヌ但シ旅店割烹店其

ノ他夜間ト雖衆人ノ出入スル場所ニ於テ其ノ公開時間内ハ此ノ限ニ在ラ

ス

第三條 當該行政官廳ハ密賣淫ノ罪ヲ犯シタル者ニ對シ其ノ健康ヲ診斷シ

必要ト認ムルトキハ本人若ハ媒合者ノ費用ヲ以テ病院ニ入ラシムルコト

ヲ得但シ本人又ハ媒合者ニ於テ費用ヲ負擔スルノ資力ナシト認ムルトキ

ハ廳府縣警察費ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ妨ケス

風俗上ノ取締ヲ要スル業ヲ爲ス者ノ居住其ノ他ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ

定ム

第四條 當該行政官廳ハ天災事變ニ際シ又ハ勅令ノ規定アル場合ニ於テ危

害豫防若ハ衛生ノ爲ニ必要ト認ムルトキハ土地物件ヲ使用處分シ又ハ其ノ

使用ヲ制限スルコトヲ得

第五條 當該行政官廳ハ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ命シタル行

爲又ハ不行爲ヲ強制スル爲左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其

ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコト

二 強制スヘキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハサルモノナルトキ又ハ不

行爲ヲ強制スヘキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ過料ニ處

スコト

前項ノ處分ハ豫メ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ヌ但シ急迫ノ事

情アル場合ニ於テ第一號ノ處分ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス
行政官廳ハ第一項ノ處分ニ依リ行爲又ハ不行爲ヲ強制スルコト能ハスト
認ムルトキ又ハ急迫ノ事情アル場合ニ非サレハ直接強制ヲ爲スコトヲ得
ス

第六條 第三條及第五條ノ費用及第五條ノ過料ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ
之ヲ徵收スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ徵收金ニ付國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第一項ノ費用及過料ニ關スル繰替支辨、收入ノ所屬其ノ他必要ナル事項
ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 認可又ハ許可ヲ受クルニ非サレハ所有スルコトヲ得サル物件行政
廳ノ保管ニ歸シタル場合ニ於テ其ノ所有ヲ認許スヘカラサルトキハ其ノ
所有權國庫ニ歸屬ス假令置ヲ爲シタル物件ニシテ一箇年以内ニ交付ヲ請
求スル者ナキトキ亦同シ

○門脇重雄君(百五十九番) 農工銀行法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイ
思ヒマスカラ、御許ヲ願ヒタイ

○議長(片岡健吉君) 門脇重雄君カラノ請求ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○早川龍介君(二百八十四番) 行政執行法案ノ說明ハアリマセヌカ、説明ガ
ナケレバ直ニ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程第十四ニ移リマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ
指名シテ御異議ハアリマセヌカ

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス——議事日程第十五
治安警察法案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十五 治安警察法案(政府提出)

第一讀會

治安警察法案

治安警察法

第一條 政事ニ關スル結社ノ主幹者(支社ニ在リテハ支社ノ主幹者)ハ結社
組織ノ日ヨリ三日以内ニ社名、社則、事務所及其ノ主幹者ノ氏名ヲ其ノ
事務所所在地ノ管轄警察官署ニ届出ツヘシ其ノ届出ノ事項ニ變更アリタ
ルトキ亦同シ

前項ノ届出ヲ爲ササル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ届出ヲ爲スモ實
ヲ以テセサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ヲ開カムトスル者ハ發起人ヲ定ム
ヘシ

發起人ハ到達スヘキ時間ヲ除キ開會三時間以前ニ集會ノ場所、年月日時
ヲ會場所在地ノ管轄警察官署ニ届出ツヘシ
届出ノ時刻ヨリ三時間ヲ過キテ開會セス若ハ三時間以上中斷スルトキハ
届出ハ其ノ效ヲ失フ

法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選舉準備ノ爲ニ選舉權ヲ行フヘキ者及
被選舉權ヲ有スル者ニ限リ會同スル所ノ集會ハ投票ノ日ヨリ前五日間
ハ本條第二項ノ届出ヲ要セス

第一項第二項ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二項ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條 公事ニ關スル結社又ハ集會ニシテ政事ニ關セサルモノト雖安寧秩
序ヲ保持スル爲届出ヲ必要トスルモノアルトキハ命令ヲ以テ第一條又ハ
第二條ノ規定ニ依ラシムルコトヲ得

第四條 屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ若ハ多衆運動セムトスルトキハ發起人ヨ
リ十二時間以前ニ會同スヘキ場所、年月日時及其ノ通過スヘキ路線ヲ管
轄警察官署ニ届出ツヘシ但シ祭葬、講社、學生、生徒ノ體育運動其ノ他慣
例ノ許ス所ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一項ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 左ニ掲クル者ハ政事上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備ノ陸海軍軍人

二 警察官

三 官立公立私立學校ノ教員學生生徒

四 女子

五 未成年者

六 公權剝奪及停止中ノ者

未成年者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ニ會同シ若ハ其ノ發起人タルコトヲ
得ス

公權剝奪及停止中ノ者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ノ發起人タルコトヲ得
ス

第六條 日本臣民ニ非サル者ハ政事上ノ結社ニ加入シ又ハ公衆ヲ會同スル
政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス

第七條 前二條ヲ犯シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前二條ニ背キ入社セシメタル者ハ罰前項ニ同シ

第八條 結社ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ニ對シテ其ノ發言表決ニ
付議會外ニ於テ責任ヲ負ハシムルノ規定ヲ設クルコトヲ得ス

第九條 安寧秩序ヲ保持スル爲必要ナル場合ニ於テハ警察官ハ集會又ハ多
衆ノ運動若ハ群衆ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

結社ニシテ前項ニ該當スルトキハ内務大臣ハ之ヲ禁止スルコトヲ得此ノ
場合ニ於テ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所

ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ制限又ハ禁止ヲ受ケ仍之ヲ犯シタル者ハ六月以下ノ輕禁錮スハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 集會ニ於テハ重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ヲ公判ニ付セサル以前ニ講談論議シ又ハ傍聽ヲ禁シタル訴訟ニ關スル事項ヲ講談論議スルコトヲ得ス

集會ニ於テハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ講談論議ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 集會ニ於ケル講談論議ニシテ前條ノ規定ニ違背シ其ノ他安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スト認ムル場合ニ於テハ警察官ハ其ノ人ノ講談論議ヲ中止スルコトヲ得

前條ヲ犯シ又ハ本條ノ中止ニ背キタル者ハ三月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 結社、集會又ハ多衆運動ニ關シ警察官ノ尋問アリタルトキハ主幹者、會長、發起人ニ於テ又ハ警察官ノ主タル社員若ハ主タル會同者ト認ムル者ニ於テ之ニ答フヘシ

警察官署ハ制服ヲ著シタル警察官ヲ派遣シ政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ニ臨監セシムルコトヲ得其ノ集會ニシテ政事ニ關セサルモノト雖安寧秩序ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキ亦同シ此ノ場合ニハ發起人ニ於テ又ハ警察官ノ主タル會同者ト認ムル者ニ於テ警察官ノ求ムル席ヲ供スヘシ

第一項ノ尋問ニ答ヘス若ハ答フルモ實ヲ以テセス又ハ第二項ノ場合ニ於テ警察官ノ臨監ヲ拒ミ若ハ其ノ求ムル席ヲ供セサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 集會又ハ多衆運動ノ場合ニ於テ故ラニ喧擾シ又ハ狂暴ニ涉ル者アルトキハ警察官ハ之ヲ制止シ其ノ命ニ從ハサルトキハ現場ヨリ退去セシムルコトヲ得退去ヲ命セラレタルモ仍退去セサル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 集會及多衆ノ運動ニ於テハ武器又ハ兇器ヲ攜帶スルコトヲ得ス但シ制規ニ依リ武器ヲ攜帶スル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ違背シタル者ハ三月以下ノ輕禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 秘密ノ結社ハ之ヲ禁ス犯ス者ハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第十六條 法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員議事準備ノ爲ニ相團結スルモノニ對シテハ第一條及第五條ヲ適用セス

第十七條 街頭其ノ他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所ニ於テ文書、圖畫、詩歌ノ揭示、頒布、朗讀若ハ放吟又ハ言語形容其ノ他ノ作爲ヲ爲シ其ノ狀況安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スト認ムルトキハ警察官ニ於テ禁止ヲ命スルコトヲ得其ノ命ニ從ハサル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ三十圓

以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 左ノ各號ノ目的ヲ以テ他人ニ對シテ暴行シ脅迫シ若ハ公然誹毀シ又ハ第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若ハ煽動スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス使用者ノ同盟解雇又ハ勞務者ノ同盟罷業ニ加盟セサル者ニ對シテ暴行シ脅迫シ若ハ公然誹毀スル者亦同シ

一 勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ協同ノ行動ヲ爲スヘキ團結ニ加入セシメ又ハ其ノ加入ヲ妨グルコト

二 同盟解雇若ハ同盟罷業ヲ遂行スルカ爲使用者ヲシテ勞務者ヲ解雇セシメ若ハ勞務ニ從事スルノ申込ヲ拒絕セシメ又ハ勞務者ヲシテ勞務ヲ停廢セシメ若ハ勞務者トシテ雇傭スルノ申込ヲ拒絕セシムルコト

三 勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ相手方ノ承諾ヲ強ユルコト

耕作ノ目的ニ出ツル土地賃賃借ノ條件ニ關シ承諾ヲ強ユルカ爲相手方ニ對シ暴行シ脅迫シ若ハ公然誹毀スル者ハ罰前項ニ同シ

第十九條 行政官廳ハ安寧秩序ヲ保持スル爲必要ト認ムルトキハ武器爆發物又ハ武器ヲ仕込ミタル物件ヲ攜帶ヲ禁スルコトヲ得

前項ニ違背シタル者ハ六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第二十條 本法ニ關スル公訴ノ時效ハ六箇月トス

第二十一條 集會及政社法ハ之ヲ廢止ス

○早川龍介君(二百八十四番) 是ハ政府委員カラ說明デモアリマスカ

○議長(片岡健吉君) 政府委員ガ出席ニナツテ居リマセヌガ、是ハ前ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

第十六 右讀案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通致シマス、議事日程第十七精神病者監護法案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十七 精神病者監護法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

精神病者監護法案

精神病者監護法

第一條 精神病者ハ其ノ後見人配偶者四親等内ノ親族又ハ戸主ニ於テ之ヲ監護スルノ義務ヲ負フ但シ民法第九百八條ニ依リ後見人タルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

監護義務者數人アル場合ニ於テ其ノ義務ヲ履行スヘキ者ノ順位ハ左ノ如シ
第一 後見人
第二 配偶者
第三 親權ヲ行フ父又ハ母

第四 戶主

第五 前各號ニ掲ケタル者ニ非サル四親等内ノ親族中ヨリ親族會ノ選任セタル者

第二條 監護義務者ニ非サレハ精神病者ヲ監置スルコトヲ得ス

第三條 精神病者ヲ監置セムトスルキハ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ急迫ノ事情アルトキハ假リニ之ヲ監置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ二十四時間内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

前項假監置ノ期間ハ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

行政廳ノ許可ヲ受ケテ監置シタル精神病者ノ監置ヲ廢止シタル後三箇年内ニ更ニ之ヲ監置セムトスルキハ民法第九百二十二條ニ依リ禁治產者ヲ監置セムトスルキハ行政廳ニ届出ツヘシ

第四條 精神病者ノ監置ノ方法又ハ場所ヲ變更シタルトキハ二十四時間内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

第五條 監置シタル精神病者治療シ死亡シ若ハ行方不明ト爲リタルトキ又ハ其ノ監置ヲ廢止シタルトキハ五日内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

第六條 精神病者ヲ監置スルノ必要アルモ監護義務者ナキ場合又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス若ハ履行スルコト能ハサル事由アルトキハ精神病者ノ住所、住所、住所ナキトキ又ハ不明ナルトキハ其ノ所在地市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監置スヘシ

第七條 行政廳ハ精神病者ノ監護ニ關シ必要ト認ムルトキハ監置ノ許可ヲ取消シ監置ノ廢止ヲ命シ又ハ監置ノ方法若ハ場所ノ變更ヲ命スルコトヲ得

監置ノ許可ヲ取消サレ又ハ其ノ廢止ヲ命セラレタル者監置ヲ廢止セサルトキハ行政廳ハ直接ニ監置ヲ廢止スルコトヲ得

第八條 精神病者監置ノ必要アルトキ又ハ監置不適當ト認ムルトキハ行政廳ハ第一條第二項ノ順位ニ拘ラス監護義務者ヲ指定シ之ヲ監置ヲ命スルコトヲ得但シ急迫ノ事情アルトキハ行政廳ハ假リニ其ノ精神病者ヲ監置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三條第二項ノ規定ヲ準用ス

市町村長ニ於テ監護スル精神病者ノ監護義務者ヲ發見シ又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行シ得ルニ至リタルトキ亦前項ニ同シ

本條ニ依リ監護義務者ノ監置シタル精神病者ニ關シテハ行政廳ノ許可ヲ受ルニ非サレハ其ノ監置ヲ廢止シ又ハ監置ノ方法若ハ場所ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條 私宅監置室、公私立精神病院及公私立病院ノ精神病室ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

私宅監置室、公私立精神病院及公私立病院ノ精神病室ノ構造設備及管理方法ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 監護ニ要シタル費用ハ被監護者ノ負擔トシ被監護者ヨリ辨償ヲ得タルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

市町村長ニ於テ監護スル場合ニ於テ之ヲ爲要スル費用ノ支辨方法及其ノ追徴方法ハ行政廳ハ必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ヲシテ精神病者ノ檢診ヲ爲サシメ又ハ官吏若ハ醫師ヲシテ精神病者ニ關シ必要ナル尋問ヲ爲サシメ又ハ精神病者在ル家宅病院其ノ他ノ場所ヲ臨檢セシムルコトヲ得

第十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ執行ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ執行ニ關スル行政廳ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十四條 官吏公吏又ハ行政廳ノ命令ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十五條 官吏公吏又ハ行政廳ノ命令ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照ラシテ處斷ス

第十六條 左ニ掲クル者ハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一 詐僞ノ所爲ヲ以テ行政廳ノ許可ヲ受ケ若ハ虛僞ノ届出ヲ爲シ精神病者トシテ人ヲ監置シ又ハ拘束ノ程度ヲ加重シタル者

二 醫師精神病者ノ診斷書ニ虛僞ノ事實ヲ記載シ又ハ自ラ診斷セスシテ診斷書ヲ授與シタル者前項第一號ノ場合ニ於テハ監置又ハ拘束ノ日數十日ヲ過クル者每一等ヲ加フ

第十七條 左ニ掲クル者ハ二月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ監置又ハ拘束ノ日數十日ヲ過クル者每一等ヲ加フ

一 許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サス若ハ命令ヲ受ケシテ精神病者トシテ人ヲ監置シタル者

二 禁治產ノ宣告又ハ監置ノ許可ヲ取消サレ又ハ監置ノ廢止ヲ命セラレ若ハ假監置ノ期間ヲ經過シタル後監置ヲ廢止セサル者

三 許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シ若ハ命令ヲ受ケタル程度ヲ超エテ精神病者ヲ拘束シタル者

第十八條 左ニ掲クル者ハ一月以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 精神病者ノ監置ニ關シ虛僞ノ事實ヲ記載シタル願居其ノ他ノ書類ヲ行政廳ニ提出シタル者

二 監護義務ヲ履行スヘキ順位ニ在ラサル者ニシテ許可ヲ受ケス又ハ命ニ依ルニ非スシテ監置ヲ廢止シ又ハ監置ノ方法若ハ場所ヲ變更シタル者

三 官吏又ハ行政廳ノ指定シタル醫師ノ臨檢若ハ檢診ヲ拒ミ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シタル者

第十九條 左ニ掲クル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 監置ノ方法若ハ場所ノ變更ヲ命セラレ其ノ命ヲ履行セサル者

二 監護義務者精神病者ノ監置ヲ命セラレ其ノ命ヲ履行セサル者

三 第八條第三項及第九條第一項ニ違背シタル者

第二十條 第四條及第五條ニ違背シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第二十一條 本法ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ヨリ精神病者ヲ監置シタル者ニシテ尙之ヲ繼續セムトスルキハ本法施行ノ日ヨリ二箇月内ニ第三條ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲スヘシ

本法中市町村長ニ屬スル職務ハ東京市京都市大阪市ニ在リテハ區長、市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第二十二條 外國人タル精神病者ノ監護ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 人事訴訟手續法第五十條又ハ第六十條ニ依リ裁判所ニ於テ精神病者ノ監護ニ付必要ナル處分ヲ命シタル場合ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用セス

(政府委員内務省衛生局長長谷川泰君演壇ニ登ル)

○政府委員(長谷川泰君) 本案提出ノ理由ヲチヨット申上ゲマスデゴザイマス、民法上精神病者ニ對シマシテツレノ規定ハ色々アリマスケレドモ、行政上ニ對シマシテハ未ダ精神病ニ對シマシテ、一定ノツレヲ監護致シマス法律ガナイノデアリマス、因ツテ必要ニ迫ラレマシテ本案ヲ提出致シマシテ次第アリマス、且ツ貴族院ニ於テ多少ノ修正ガアリマシタデゴザイマスガ、政府ハ是ニ同意ヲ致シマシタデゴザイマス、何卒御協賛ノ上速ニ通過アラシコトヲ偏ニ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセネバ議事日程第十八特別委員ノ選舉ニ移リマス

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ、議長ガ指名致シマシテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、此議事日程ノ十九、二十、二十一ヲ併セテ議題トスルコトハ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、委員長報告多田作兵衛君

第十九 鐵道營業法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 私設鐵道法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 私設鐵道條例中改正法律案

第一讀會ノ續(委員長報告)

(多田作兵衛君演壇ニ登ル)

○多田作兵衛君(百二十九番) 私ハ特別委員會ノ經過結果ヲ御報告シマス、特別委員會ハ度々開キマシテ、鄭重ニ鄭重ヲ加ヘマシテ十分調査致シマシタ譯デゴザイマス、鐵道營業法案ニ關シマシテハ大體ヲ贊成致シマシタ、其理由ハ鐵道營業ニ關シマシテハ明治五年第四十六號、明治六年第一百號、又明治二十年勅令第十二號等ニ依リマシテ、管理致シテアリマシタケレドモ、鐵道發達ノ場合ニ適セザル所ノ箇條ガ澤山ゴザイマス故ニ、是非共改正ヲシナケレバナラヌト云フ必要ヨリ、大體委員會ハ贊成致シマシタ、ツレカラ鐵道條例——私設鐵道法案デゴザイマス、是モ明治二十年ノ制定ニ依リマス、私設鐵道條例ニ依リマシテ管理致シテ居ル譯デアリマシテ、鐵道發達ノ今日ノ場合適セザル箇條ト云フモノガ、是モ澤山デゴザイマスノデ、是非共改正シナケレバナラヌト云フ必要ヨリ、大體贊成ヲ致シマシタ、ツレカラ各條ニ附イデ色々修正ノ意見モ出マシタガ、孰モ原案ニ決シマシテ、修正致シマシタ、箇條ハ別紙アナタ方ニ御回シ致シテ居リマス所ノ報道ノ通デゴザイマス、其箇條ヲ簡短ニ述ベマシテ御贊成ヲ求メマス、鐵道營業法中ノ修正ハ第二十三條ニ致シマシタ、此第二十三條ノ懲戒ハ左ノ五種トス、一免職、二轉職、三減給、四過怠金、五譴責、懲戒ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、斯ウ云フノヲ削リマシテ、サウシテ新ニ「會社ハ懲戒ニ關スル規程ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ懲戒ヲナスヘキ場合ニ於テ會社之ヲ爲ササルトキハ主務大臣ニ於テ懲戒ヲナスコトヲ得」斯ウ云フ修正デゴザイマシテ、原案ノ方ノ精神ヲ質問致シテ見マス、會社ガ一、二、三、四、五ノ項目ニ依ッテ懲戒ヲ加ヘマシテ、其事ニ不服ガゴザイマストキハ、異議ヲ遞信省ニ申立テ得ルコトニ致サル、精神ト云フ説明デゴザイマシタ、ツレデハドウモ會社ノ自治ノ舞臺ニ遞信大臣ガ立入ル譯ニナツテ、例ヘバ免職轉職減給等ニ附イテ不當ト見マシタ所ガ、ツレヲ復職セシムルト云フヤウナコトニ至ッテハ、ドウシテモ會社ニ於テ難澁ノ起ル譯ノコトデゴザイマス、ツレ故ニ此懲戒ノ處分ト云フモノハ豫テ規程ヲ定メテ置キマシテ、サウシテ懲戒ノ處分ヲ爲ス、ツレカラ其懲戒ヲ會社ガ爲シマセヌ場合ニ於テハ、主務大臣ノ權利ニ依ッテ懲戒ヲ爲スト云フコトニ修正致シマシタ譯デアリマス、其他ハ原

案ノ通デゴザイマス、ツレカラ私設鐵道法案此十三條ニ少シク修正ヲ加ヘマシタ「勅裁ヲ經テ本免狀ヲ下附スヘシ」トゴザイマスノデ「勅裁ヲ經テ」ト云フ字ヲ削リマシタ、其削リマシタ理由ハ勅裁ヲ經ルト云フコトハ政府ノ内部ニ於テ爲スベキコトデアツテ、此法律ノ明文ニ於テ勅裁ヲ經ルト云フコトヲ、此處ニ書イテ置クノハ不穩當デアルト云フ趣意カラ削リマシタ譯デゴザイマス、ツレカラ第五十八條ノ「一哩ニ付金壹圓五厘ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ス」ト修正案ニゴザイマスノヲ貳錢ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ス」ト修正致シマシタ、ツレカラ「其ノ一人ノ運賃額ヲ參錢マテ」ト原案ニゴザイマスノヲ「四錢」ト致シマシタ、其理由ハ現行法ガ矢張一錢五厘ト云フ譯ニナツテ居リマスケレドモ、現行法ヲ制定致シマシタトキハ數年前ノ前デゴザイマシテ、金貨制度ノ改正ト共ニ金ノ位ニモ變動ガ起ツテ居ル譯デゴザイマス故ニ、以前ノ一錢五厘ト云フ割合ニ今日二錢ト云フコトニ致シマスノガ適當デアラウト云フヨリ「貳錢」ト増加致シマシタ、ツレカラ「參錢」トゴザイマスノモ「四錢」ト修正致シマシタ譯デゴザイマス、其他ハ原案ニ決シマシタ、尙ホ一言申上ゲテ置キマスノハ、大體ニ於テ申上ゲタ通ニ、此法案ト云フモノハ是非共本期ノ議會ニ結了セニヤナラヌ大切ナ案ト存シマス故ニ、會期モ切迫シタ譯デゴザイマス故ニ、今日直チニ二讀會ニ讀會ヲ御開キニナリマシテ、可決セラレマシテ一日モ速ニ貴族院ニ是非同シタイ精神デゴザイマス（贊成々々）ト呼フ者アリ）モウ一ツ田口君ノ私設鐵道條例中改正案ガ出テ居リマスガ、田口君ノ精神ハ唯今ノ運賃引上ノ場所ノ幾分ノ意味ヲ加ヘタノデゴザイマス、ツレト現行法改正ノ法案デゴザイマス故ニ、自然ノ結果否決ヲ致シマシタ譯デゴザイマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○議長（片岡健吉君） ツレデハ採決致シマス前ニ、先ヅ第十九第二十二附イテ採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（片岡健吉君） 異議ガナケレバ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

（「直チニ二讀會ヲ開クコトヲ望ミマス」ト呼フ者アリ）

○議長（片岡健吉君） 直チニ二讀會ヲ開クニ異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（片岡健吉君） 直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

鐵道營業法案

私設鐵道法案

○議長（片岡健吉君） 委員長報告通テ異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（片岡健吉君） 委員長報告通決シマス

（「直チニ確定ヲ望ミマス」ト呼フ者アリ）（贊成々々」ノ聲起ル）

第二讀會

（政府委員逕信省鐵道局長犬塚勝太郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（犬塚勝太郎君） 此二讀會ノ場合ニ於キマシテ（二讀會ハモウ濟「ダ」濟シタ濟シタ」今ハ三讀會ダ」ト呼フ者アリ）簡短ニ申上ゲテ置キマスガ、此「裁可」ト云フ文字ヲ委員ノ方デ省カレマシタノデゴザイマスガ、此「勅裁」ト云フ文字現行法ニアリマス「裁可」ト云フ文字ヲ換ヘタノデ、鐵道ノ本免狀ヲ與ヘルト云フコトハ重イコトニシテアルノデ、現行法ニモ裁可ト云フコトハアル、他ノ法令等ヲ見マシテ勅裁ヲ經テト云フコトガ法條中ニ明記シタノガアリマスノデ、勅裁ト云フコトハ委員長ノ方デモ大ナル御異議ハナイノデアリマスカラ、現行法通條文中ニ明記セラレタイト云フ希望ヲ有ツテ居リマス、ツレカラ此貨錢ノ一錢五厘ヲ二錢ニ、三錢ヲ四錢ニ修正ニナリマシタガ、是ハ委員長カラ報告ノ通、或ハ金貨本位云々ト云フコトモアリマセウガ、鐵道ノ貨銀ノ如キハ金貨本位ト云フヤウナ單純ナコトヲ以テ定ムベキモノデナイト考ヘテ居リマス、現在統計上ニ照シテ見マスルト、今日ノ私設鐵道ノ大體ハマダ營業收支上ニ於キマシテ大ニ裕餘アリマスノデ、貨錢等モ現在ノ制限タル所ノ一錢五厘ニ達セナイノモゴザイマス、サウ云フヤウナ有様デゴザイマスカラ、唯今ニ於テ一錢五厘ヲ二錢ニ三錢ヲ四錢ニ改メル必要ハナイト考ヘマスカラ、政府案ノ通御決定ヲ願ヒタイ

（「反對々々」ト呼フ者アリ）

○多田作兵衛君（百二十九番） 二錢ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ズ、又其範圍内ニ於テ云々ト云フノダカラ、少モ差支ハナイ

○議長（片岡健吉君） 直チニ三讀會ヲ開クニ異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（片岡健吉君） 直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

鐵道營業法案

私設鐵道法案

○早川龍介君（二百八十四番） 政府委員ノ御趣意ハ委員會ノ修正ニ反對ト云フデアリマスカ覽ハクハサウ云フヤウニシタイト云フ御希望ナシデスカ

○政府委員（犬塚勝太郎君） 簡短ノコトデゴザイマスカラ此席カラ申上ゲマスガ、詰リ御信用ヲ願ヒタイト云フ趣意デゴザイマス

○早川龍介君（二百八十四番） 十分反對スルト云フ一本槍デハナイノデアリマスナ

○政府委員（犬塚勝太郎君） 能ク考ヘテ御決シヲ願ヒタイト云フダケデアリマス

（「反對々々」ト呼フ者アリ）

（多田作兵衛君「政府ハ此コトニ絕對ニ反對シテハ居リマセヌ」ト呼フ）

○議長（片岡健吉君） 第二讀會ニ於テ決シタル通テ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

第三讀會

第三讀會

第三讀會

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、次ノ二十一ノ日程ハ前ノ決議ノ結果、自然消滅シタルモノト認メテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程ノ第二十二印紙稅法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、星松三郎君

第二十二 印紙稅法中改正法律案(星松三郎君外八名提出) 第一讀會

印紙稅法中改正法律案

第四條第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 一覽拂爲替手形 印紙稅 一錢

第五條第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 貯蓄預金證券及通帳

(星松三郎君演壇ニ登ル)

○星松三郎君(二百八十三番) 本員ノ提出致シマシタ所ノ印紙稅法中改正法律案デゴザイマスルガ、是ハ諸君モ篤ト御承知ノコトデハゴザイマセウガ、此爲替手形即チ此處ニ掲ゲ置キマシタ一覽拂爲替手形、是ハ何レノ處デモ各國デ行レテ居リマスコトデゴザイマス、是ニハ大イニ便宜ヲ與ヘテアルノデゴザイマスガ、特リ我國デハ之ニ十分ノ便宜ヲ與ヘテ居ラス、殊ニ前議會デ此事ノ話モアリマシタガ、其當時遂ニ話ガツレ切リニナリマシタガ、實際印紙稅法ヲ施行後如何ナルコトガ起ルカト申シマスルト、此爲替手形ニ於テハ現狀ノ有様ス様ニナリテ居ル、一錢ガ二錢トナッタ金高ニ應ジテハ十錢マデトナリマシタ以來、約束手形ト稱スル無稅ノ小切手ヲ以テ之ニ應用スルト云フ有様デ、實際法律ノ上デハ相濟マヌ譯デハアリマスガ、當座ノ取引ノアルモノハ印稅ヲ省クガタメニ、既ニ無稅ノ小切手ヲ流用シテ居ル今日ノ有様デアル、ソレ故ニ無稅デアレバ政府ガ印稅ヲ取ルト云フ方ノ上ニ至ッテモ、印稅ヲ得ントシテ得ル能ハザル法デアデ、人民ノ方カラハ爲シ能ハヌコトヲ爲スノデアルカラ、萬一ノ事ヲ大ニ恐レテ居ルト云フ今日ノ實況デアアル、ソレ故ニ二錢ヲ一錢ト致シタイト云フコトノ輿論ハ、既ニ此當局者間バカリデナクシテ、其他金融ニ相關係スル所ノ者ハ悉ク口ニスル所デアッテ、即チ此法案ノ由テ本院ニ提出セラレタ譯デアアルノデゴザイマス、ソレ故ニ是ハ諸君ノ御協賛ヲ得マシテ、ドウカ斯ウ云フコトニ致シタイト云フコトヲ、偏ニ諸君ニ御協賛ヲ願ヒマスル、次ニハ此貯蓄預金證券及通帳ト申シマスルノハ、即チ貯蓄銀行ノ通帳及證券ト云フコトデゴザイマスルガ、是レ亦大阪若クハ京都其他各地方カラ續々請願モ出テ居リマスル事柄デゴザイマシテ、貯金獎勵ノ途トシテハ二錢ト云フ印紙ヲ貼ルト云フコトハ、貯金獎勵ノ途ニ戻ル譯デアアル、貯金獎勵ノ方カラ言ハバ一錢若クハ二錢ト云フ細カイ金カラ預ルコトニナル、少イ金ヲ預ケル者ハ必ズ永クハ保タヌデ、十錢二十錢ト云フ金高ニ

ナレバ必要ガアレバ引出スト云フコトニナルデアアル、ソレ等ニ向ッテハ通帳ヲ出サヌデ宜シイコト云ヘバ、通帳ハ出サナケレバナラヌデ、二十錢カ十錢ノタメニ二錢ノ印紙ヲ貼ルコトニスルト、差引キ勘定ヨリハ、利息ヨリハ多クナルノデ、預ッタ方デ繼足シヨシナケレバナラヌト云フコトニナルデアアリマス、是デハ貯金獎勵ノ途ニ大ニ反シテ居ルデアリマスカラ、是等ノ通帳證券ノ如キハ即チ印稅ナシニシテ、無稅ト云フコトニシタイト云フ理由デゴザイマス、旁々斯様ニナリマスルヤウニナリマスルト云フト、現行法ノ第四條ノ第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘマシテ、一覽拂爲替手形印紙稅一錢第五條第六項ノ次ヘ左ノ一項ヲ加ヘテ、貯蓄預金證券及通帳ト、斯ウ加フルコトニ相成リマス、詳シク申ス要モゴザイマセヌト思ヒマスカラ、大體右ノ數項ヲ摘シテ諸君ノ御協賛ヲ得マスルノデゴザイマスガ、併ナガラ是ハ政府ヨリ提出シタルモノニアラズシテ、議員ヨリ提出致シタモノデアリマスカラ、如何ニ會期ガ切迫シテ居リマシテモ、形式上委員ニ付託スルコトガ適當ト思ヒマスカラ、速ニ委員ニ付託セラレテ速ニ可決相成ルヤウ御取計ヲ願ヒマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本案ハ提出者ヨリ委員ニ付託シテ貰ヒタイト云フコトデアリマスガ、議長ガ九名ノ特別委員ヲ指名シテ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通決シマス、次ニ議事日程第二十三市町村制中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、堀家虎造君

第二十三 市制町村制中改正法律案(堀家虎造君外二名提出) 第一讀會

市制町村制中改正法律案

市制第百二十一條第二項ヲ削ル

同第百二十三條第百二十三條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第百二十三條ノ二 市ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

町村制第百二十五條第二項ヲ削ル

同第百二十七條第百二十七條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第百二十七條ノ二 町村ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

(堀家虎造君演壇ニ登ル)

○堀家虎造君(二百八十二番) 諸君、此市制町村制ノ中ニ改正ヲ要スル點ハ澤山アリマスガ、併シ其中デ最モ急ニシテ一日モ速ニ改正シナケレバナラヌ箇條ニツツ修正致スノデゴザイマス、ソレデ諸君ノ御手許ニ回ッテ居リマス議案ノ中ニ、活字ノ誤ガアリマスカラ、御斷ヲ致シテ置キマスガ、三行目ノ市

制百二十三條ト云フハ、百二十二條ノ活字ノ誤デアリマスカラ御訂正ヲ願ヒ
マス、後トノ三箇條モ同ジクサウナリマス、其次ハ町村制百二十七條トアリ
マス、百二十六條ノ誤デアリマスカラ御訂正ヲ願ヒマス、本案ヲ提出シ
タ理由ハ參照ヲ一讀下サルト明瞭ニナリマスガ、參照ノ市制百二十一條ノ末
項ニ斯ウ云フ明文ガアリマス、前項第一ノ場合ニ於テハ勅裁ヲ經テ許可スベ
シト云フノヲ削除スルト云フノ意見デゴザイマス、ソレカラ市制百二十二條
ノ次ニ百二十三條ヲ持ッテ往テ、市ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スベキ
事項中、勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得ト云
フ一條ヲ加ヘルノデアリマス、ソレカラ町村制ノ分ノ百二十五條ノ一番末項
ニ、市制ト同ジコトニ前項第一ノ場合ニ於テハ、人口一万以上ノ町村ニ係ルト
キハ勅裁ヲ經テ許可スベシト云フヲ削除致シテ、同ジク百二十六條ノ次ニ第
百二十七條ノ一項ヲ加ヘテ、是モ文言ハ市制ト同ジク町村ノ行政ニ關シ主務
大臣ノ許可ヲ要スベキ事項中、勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ
委任スルコトヲ得ト云フノヲ加ヘルノデ、是ハ便利ナル官民共ニ手數ヲ省ク
案デ、所謂繁文ヲ省略シテ最モ市町村ニ附イテ、非常ナル事務ノ繁雜ナル手
數ヲ省ク利益ガアリマス、假ニ其一例ヲ申シマス、市ノ條例ヲ制定致シマ
スルトキニハ、僅ナル條例ニシマシテモ、一々勅裁ヲ經マシテサウシテ內務
大臣ノ許可ヲ經ルヤウナコトニナッテ居ル、僅ナル條例ノ一條項マデモ勅裁
ヲ經ナケレバ出來ヌト云フハ、實ニ煩雜ノ手數ガ掛リマス、ソレガタメニ此
條項ヲ刪除スルノ意見デゴザイマス、ソレカラ市制百二十二條及市町村制百
二十六條ノ次ニ、町村ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スル事件ハ、中ニハ
或ハ重大ノ事件モアリマセウシ、又極簡單ナ町村會ノ決議モゴザイマセウ、
ソレ等ノ場合ニハ勅令ノ規定ニ依ッテ範圍ヲ極メテ、極ク輕易ノモノハ府縣
知事ニ委任スルコト云フ、委任條件ヲ其中ニ入レルト云フコトニ致シマス、サウ
シナイト極僅ノ一錢ノ手數料ヲ徵收スルニモ、內務大臣大藏大臣ノ認可ヲ
經ナケレバナラヌト云フコトニナル、又假リニ町村稅ヲ取ルニシテモ、或ハ地
租七分ノ一ヲ超過スル稅ヲ取ル、間接國稅ノ附加稅ヲ取ルト云フ町村會ノ決
議ガアツタナラバ、內務大臣大藏大臣ノ認可ヲ經ナケレバナラヌ、人口一萬デ
ハ勅裁ヲ經ナケレバナラヌト云フ手數ガアリマスカラ、決議ヲシテ三箇月モ
六箇月モ許可ノ下ラヌ有様ニナッテ居ルタメニ、非常ノ手數ヲ要シ許可ノ下
ルマデハ、豫算ガ成立セヌカラ、他ノ町村稅ヲ取ルコトノ出來ナイ有様デ、
之ヲ徵收スルコトガ出來ナイカラ、己ムヲ得ズ他ニ公借ヲシテモ豫算ノ收入
ヲ償フコト云フ有様ニナッテ、變則ノコトヲシテ居ル、是ハ內務大臣大藏大臣ノ
許可ヲセラル、前ニ、府縣廳デハ十分ノ取調ヲシテ、法律ノ明文ニ差支ヘズ
實際ノ負擔ニ差支ナイト云フコトノ、府縣知事ノ意見ヲ附シテ內務大臣ニ進
達スルノデ、大抵內務省ノ方デ調ベルニハ府縣知事ノ調査ガナケレバ、勿論
許サレヌコトデアルカラ、重イ分ハ內務大臣デ許スト云フコトニシテ、輕イ
モノハ地方官ニ委任スルコト云フ委任條件ヲ加ヘタナラバ、內務大臣ハ煩雜ナ

ル手數ヲ省キ、各市町村ニ於テモ便利ヲ得ルト存ジマスカラ、刪除シタイ
存ジマス、願ハクハ會期切迫ノ場合デアリマスカラ、即決ヲ願ヒタイト存
マス

○恆松隆慶君(百四十三番) 此案ハ即決ト云フ御望デアリマスガ、既ニ昨日
鈴木總兵衛君ノ提出案ヲ付託シタ委員ガアリマスカラ、其委員ニ付託ニナル
コトヲ希望致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 唯今ノ恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、次ノ議事日程第二十
四ハ提出者カラ一時議事ヲ延ベテ吳レト云フ請求ガアリマシタガ、御異議ア
リマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、次ハ議事日程第二十
五刑法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、安藤龜太郎君

第二十五 刑法中改正法律案(安藤龜太郎君外三名 第一讀會 提出)

刑法中改正法律案

刑法中左ノ通改正ス

第二百一十一條第一號中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ同條第二號中「無期流刑」

ヲ「有期流刑」ニ改メ「有期流刑」ヲ「重禁獄」ニ改メ

第二百二十三條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第二百二十九條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第二百三十條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第二百三十一條中「無期流刑」ヲ「有期流刑」ニ改メ

第二百三十八條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第二百六十九條中「無期流刑」ヲ「有期流刑」ニ改メ「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第二百七十二條第二項中「死刑」ニ反坐スヲ「無期流刑」ニ處スニ改メ

第四百二條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第四百三條中「無期流刑」ヲ「有期流刑」ニ改メ

第四百五條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ

第四百十五條中「死刑」ヲ「無期流刑」ニ改メ同條但書中「無期流刑」ヲ「有期

徒刑」ニ改メ

(安藤龜太郎君演壇ニ登ル)

○安藤龜太郎君(二百八十一番) 諸君、私ハ刑法中改正法律案ヲ提出シマシ
タガ、此提出ノ趣意ハ現行刑法中ヨリ死刑ヲ除カウト云フ考デゴザイマス、
諸君、此死刑存廢ノ問題ニ附キマシタハ、隨分歐米各國ニ於テモ驚キト議論

ガアツテ、未だ全ク一定ノ歸著シタ議論モナイヤウニ開イテ居リマスルガ、併ナガラ總テノ國ハ死刑ハ實ニ殘酷ノ刑デアル、又犯人ヲ懲治スル目的ニ於テ大ニ缺クル途ガアル、又一旦死刑ヲ執行スルトキニハ再ビ之ヲ恢復ガ出來ヌ、要スルニ死刑ハ其刑デナイト云フコトハ、各國ガ認メテ既ニ之ヲ廢止シ、或ハ之ヲ廢止セザルモ、甚ダ其執行シテ居ル所ハ少イノデアリマス、デ是ハ多少私モ調ベテ見マシタガ、實際歐洲各國ニ於テ死刑ヲ用ヒテ居ル國ハ誠ニ僅僅デアリマス、諸君、死刑ハ古代ニ於テハ必要ノコトガアツタノデアリマセウ、殊ニ我邦ノ如キニ於テハ維新以前ハ非常ナ殘酷ナ刑ガアリマシテ、即チ徳川百箇條等ヲ見マスル、火刑或ハ磔刑其他種々ナル殘刑ガ存シテアリマシテ、而シテ維新以來總テノ殘酷ナ刑ハ廢セラレテ、其後種々ナ變遷ヲ經テ、今日ハ絞罪ノ一ノ死刑ヲ存スルコト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ此死刑ハ果シテ之ニ代フベキダケノ相當ナ刑ガアルナラバ、斯ノ如キ刑ハ廢スル方ガ相當デアラウト考ヘテ居リマス、死刑ハ必シモ社會ト何レノ時代デモ關係シテ居ルモノデハナイト云フコトハ、私ガ斷言シテ憚ラヌノデゴザイマス、而シテ又此死刑ヲ存スルコト云フ者ハ曰ク、凡ソ社會ヲ組織スル所ノ分子、即チ人ヲ殺スト云フ程社會ニ危險ヲ與ヘルモノハナイ、斯ノ如キ危險デアルナラバ、宜シク斯ノ如キ害物ハ悉ク社會カラ除去ツテ、一國ノ秩序ヲ保ツノ外ハナイト云フコトヲ申シマス、如何ニモ其說ハ一説ノヤウデアリマサルケレドモ、吾々ガ思フニハ成人ヲ殺傷スル者ハ、國家ノ害惡ト見レバ見ルヤウナモノデアリマスケレドモ、併シ理論上カラ申シマスル、人ハ自分ガ有スル權利ヨリ以上ノモノヲ以テ、之ヲ人ニ施スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、即チ人ノ生命ハ能ク之ヲ奪フコトヲ得ルモ、之ヲ人ニ與フルト云フ權利ハナイ、然ラバ既ニ人ニ生命ヲ與ヘルト云フ權利ガナイ以上ハ、決シテ又人ノ生命ヲ奪フコトハ出來ナイ、況ヤ人ヲ以テ人ヲ刑スル杯ト云フコトハ、實ニ殘酷ナ、人類ノ爲スベキコトデハナイト私ハ考ヘマス、而シテ又人ガ已ヲ殺スカラ已亦人殺サントシ、人ガ已ノ自由ヲ奪フカラ已亦人ノ自由ヲ奪ハントシテ、即チ轉轉循環シテ參々ナラバ、實ニ復讐主義ト云フモノガ行レテ、何レノ場合ニカ其事ヲ決著スルコトガ出來ヌト云フヤウナコトニナリマス、故ニ死刑ハ誠ニ不正不當デアルト云フコトハ私ガ言ハヌデモ、既ニ明ナコトデアラウト思フ、而シテ又私ガ最モ此死刑ノ廢スベキト感シマスルノハ、彼ノ國事犯デアリマス、國事犯罪ナルモノハ諸君モ御承知ノ通、政治上ノ改革ヲ目的トシテ、其結果總テノ財產或ハ多クノ生命ヲ蕩盡シテ、隨分一方カラ見マスルト云フト、甚ダ之ヲ重ク罰センケレバナラヌヤウナ舉動デアリマサルケレドモ、翻テ犯人ノ心情ヲ觀察シテ見マスレバ、決シテ犯者ノ意志ハ唯自家ノ口腹ヲ慰スルコト云フノデハナクシテ、即チ社會ニ公益ヲ與ヘ又人民ニ大ニ利益ヲ與ヘント欲スル所ノ、公義心ニ出テ居ルノデアリマスルカラシテ、其心情ハ寧ロ憐ムベキ——憫諒スベキモノデアツテ、決シテ之ニ殘酷ナ死刑等ヲ以テ臨ムベキモノデハナイト私ハ考ヘマス、而シテ又此國事犯者杯

ト云フ名目ヲ附ケマスルノハ、一體何レノ場合ニ起ルカト云フト、或一方ノ改革者ガ革命ヲ企テ、之ガ敗レタ場合ニ始テ一方ノ者ガ之ニ國事犯ト云フ名ヲ附ケルノニ過ギナイ、若シ其國事犯者ガ一朝志ヲ得タナラバ、前政府ニ代ツテ政權ヲ掌握シテ、其國ヲ治ムルト云フ位置ニナルノデアリマセウ、此時ニ當レバ必ヤ其人民ハ其德ヲ仰ギ、其命令ニ服従スルト云フヤウナコトニナルノデアリマス、故ニ國事犯者ノ如キハ決シテ斯ノ如キ死刑ヲ以テ臨ムベキ者デハナイト云フコトハ、又之ヲ以テ明デゴザイマス、況ヤ死刑ヲ置イテ國事犯者ヲ懲治スル杯ト云フコトハ最モ出來ナイ、所謂國事犯者ナル者ハ自分ノ一身ヲ犧牲ニ供シテ、必ズ此改革ヲ爲サンケレバ一國ノ安寧人民ノ利益ガ保テヌト云フ決心カラシテ起ス以上ハ、如何ニ死刑ヲ置イテ之ヲ罰スト雖モ、其犯者ノ精神ヲ止メルコトハ出來ナイノデアリマス、是カラ以テ見レバ實ニ國事犯者ナドノ如キ者ハ、無論死刑ハ廢サンケレバナラヌ、況ヤ歐洲各國ニ於テハ殆ド國事犯者ノ死刑ヲ置イテ居ル所ノ國ハナイノハ、諸君モ御承知デアリマセウ、加之國事犯者ハ却テ其國ニ於テ歡迎ヲシテ居ルト云フ位ノ、大ニ名譽トシテ居ル位ナコトデアレバ、益々之ヲ以テ死刑ヲ置クト云フコトハ不當デアリマス、其他放火罪或ハ通信往來等ヲ妨害スル罪、其他種々ナ我現行法ニ於テハ死刑ノ範圍ヲ擴張シテ、驚クベキ統計ガ數ヲ示シテ居リマス、併ナガラ吾々ハ斯ノ如キ甚ダ現行法ノ不備デアルカラシテ、此點カラ見レバ全廢シテモ差支ナイト云フ考デアリマスルガ、ケレドモ立法上急激ノ變動ハ又之ヲ慎重ナケレバナリマセウ、ソレ故ニ姑ク先ツ此際ニ於テハ、皇室ニ對スル罪ト、ソレカラ謀殺ノ罪、強盜殺人ノ罪、祖父父母母ニ對スル罪、此四ツノ罪ダケニハ死刑ヲ置イテ、其他ノ罪ハ全然廢止セント云フ考デゴザイマスカラシテ、何卒滿場ノ諸君、是ハ實ニ重大ナ問題デアリマスルニ依ッテ、委員ニ付託サレテ十分ナ御審議アラント切望致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ「委員付託贊成」ト呼フ者アリ

○工藤行幹君(二百七十九番) 私ハ反對ニ附イテハ、若シ政府ニ意見ガアルナラバ政府ノ意見ヲ一應承リタイガ、政府ハ出テ居ラレマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 政府委員ハ出テ居リマス

(政府委員司法省參事與官倉富男三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(倉富男三郎君) 唯今議題トナツテ居リマス刑法中改正法律案ニ對シマシテハ、政府ハ遺憾ナガラ同意ヲ表スルコトガ出來マセヌノデ、唯今既ニ委員付託ノ御説モゴザイマスカラシテ、委員ニ付託セラレマシタナラバ詳細ニ申上ゲヤウト思ヒマス

○工藤行幹君(二百七十九番) チョット政府委員ニ一應御尋シタイコトガアル、唯今倉藤君カラ提出シタコトハ、何レ是ハ委員ニ付託スルデアリマセウカラ、其上デモ宜シイガ、私共現今ノ有様ニ驚イテ居ルコトガアル、ソレハ外ノコトデハナイガ、臺灣ニ於テ昨年ノ一月カラ十一月マデノ間ニ依ルト云フト、死刑ノ宣告ヲ受ケタ者ガ七百何十人デアル、其内半分位ハ此覆審院ニ控

訴シテ居ルガ、既ニ死刑ニ處セラレタ者ハ二百五十人程アルノデゴザイマス、如何ニモ是ガ人口ノ割合其他カラ見テモ、實ニ死刑ノ多イコトハ殘酷ノ至ダト云フ私共感ガアル、或ハ之ヲ外國カラ見テモ、餘程是ハ日本ノ名譽上ノ關係ガアリハレナイカト云フコトヲ心配シテ居ル者デゴザイマスガ、此畢竟死刑ノ多イト云フモノハ土匪刑罰令ト云ウテ、今日ノ臺灣ニハ一種ノ刑法ヲ布イテ居リマスカラ、斯ノ如キ死刑ノ罪人ガ一箇年ニ七百七十人ト云フヤウナ多數ニ上ツテ居ルコト、思ヒマスガ、政府ハ此臺灣ノ死刑ノ澤山アルノヲ、是ハ已ムヲ得ナイコト、シテ居ルノデゴザイマスガ、或ハ此死刑ヲ禁ズルヤウナ相當ノ御見込ガアルノデゴザイマスガ、一應伺ヒマス

○政府委員(倉富三郎君) 唯今ノ御問デゴザイマスガ、私ハ司法省ノ政府委員デゴザイマシテ、臺灣ノ裁判ノ事務ハ司法省デ管轄致シテ居リマセヌカラ、御答ヲ致シマセヌ

○工藤行幹君(二百七十九番) 若シ何ナラバ……

○議長(片岡健吉君) 工藤君ノ今ノ御質問ハ少シ問題外ニナルト思ヒマス

○工藤行幹君(二百七十九番) イヤ、質問デゴザイマスカラ同ジ死刑ノコトデゴザイマスカラ差支ハナイト思ヒマスガ、今強テ此處デ御問ハ致シマセヌガ、又他日政府カラ御答ヲ得ルヤウニ致シタイ

(恆松隆慶君) 委員付託「ト呼フ」賛成々々「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ動議ガ出テ居リマスガ、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名致シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第二十六沖繩縣土地整理法中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告——永田佐次郎君

第二十六

沖繩縣土地整理法中改正法律 第一讀會ノ續(委員長 案(永田佐次郎君外三名提出))

(永田佐次郎君演壇ニ登ル)

○永田佐次郎君(百六十七番) 本案ノ委員會ノ經過ヲ御報告シマスル、此會ハ兩回開キマシテ、殊ニ御承知ノ通ニ土地モ違ヒマスルシ、此舊慣其他餘程質問モ致シマセバ分リマセヌ所ヨリ、十分ノ質問モゴザイマスルシ、其審議ノ末ニ原案ヲ可決スルコトニ委員會ハナリマシテゴザイマス、然ルニ政府委員ハ此案ヘハ反對ト云フコトヲ言レマシテ、隨分反對ノ説明モゴザイマシ、併シ此案ヲ政府ハ反對デゴザイマスケレドモ、委員會デ可決ト致シマシタル理由ハ、全體此案ハ土地ヲ耕シテ居ル所ノ小作人ノ小作地、平タク申シマスレバ此小作地ヲ所謂永小作——決シテ租金其他ノ義務ヲ怠ルニアラザレバ、取戻スコトノ出來ナイ小作地ト云フヤウナ意味デゴザイマス、ツレガ即チ今度整理法ヲ定メマシテ、所有權ヲ定メマスルニ附キマシテ、其小作地ヲ是マ

デ小作ヲ致シテ居ル、其小作人ニ與ヘルニ向ツテ其報償ヲ即チ代價ヲ納メシメテ與ヘルト云フコトニナツテ居ル、ツレバ此勅令ノ定ムル云々ノ三十四文字ヲ削リマシテ、其報償ヲ出サシメズ、自ラ當人共ノ占有ニ歸セシムルト云フ筋ノ改正デゴザイマス、一體此土地ハ重ニ沖繩ノ百姓地ト云フ土地デゴザイマスガ、此百姓地ハ元來此百姓所謂農民即チ村民ガ所有權アリヤ否ヤト云フコトヲ定ムルノガ、第一村ニ對シテ報償ヲ出サシムルヤ否ヤト云フコトノ議論ガ確マルダラウト思フ、一體此百姓地ト云フモノハ村デ各、地割ヲ致シテ、サウシテ其地割ハ皆ニ預ケテ耕作セシムル、而シテ或ハ五年或ハ十年其村ニ依リマシテ年限ノ差ハゴザイマスガ、此五年ナリ十年ナリノ間ニ地割替ト云フコトヲシテ、又互ニ替ヘテ耕作ヲスル——云フ性質ノ土地デ、此土地ハ自分ガ耕作ヲ致スト雖モ、賣買ハ勿論賃入借入タリトモ許シテゴザイマセヌ、シテ見レバ此土地ハ如何ナル土地カト云ヘバ、村民ノ所有シタル所——所有權ノアル土地デナクシテ、先ヅ官有地ト云フヨリ外ハナイ、ソコデ百姓地ヲ耕シテ居ル者ハ今耕作ヲシテ居ル者モ、村民モ共ニ官有地ノ小作人ト云フヤウナ有様ニナツテ居リマスル、ソコデ總令此報償ヲ出サシムルトモ、村ニ之ヲ納入セシムルノ筋合ニハ往キマセヌト考ヘマスル、近ク警ヲ引キマスレバ立派ニ官有地デアツテ、所謂民有ノ實ナシト云フコトヲ警ヲ引キマスレバ、明治八九年ノ頃デモゴザイマスガ、此沖繩分遣隊ガ行キマシテ、古波藏ト云フ所ニ兵營ヲ建テマシタ、其兵營ガ建ツトキニハ琉球藩ヨリ日本ノ政府ガ其土地ヲ買受ケテ、サウシテソコニ兵營ヲ建テタト云フ譯ニナツテ居ル、其琉球藩ハ如何ナルコトヲ致シタカト云ヘバ、此百姓地ノ中ヨリ無代價デ引上ゲテ、サウシテ日本政府ニ賣渡シタ、其代金ハ琉球藩ノ收入スル所トナツテ居リマスル、人民ニ向ツテハ半文タリトモ渡シテ居リマセヌ、ツレカラ又近クナツテ來マスルト、明治十八九年ノ頃古波藏ト云フ所ノ兵營ヲ止メテ首里城ニ引移タル後ニ、首里城ノモト松川橋ト云フ所ノ際デゴザイマス、即チ舜天王鎮西八郎ノ息子タル——舜天王ヲ祭ツタル廟ノ前、ソコニ一万坪カ一万餘坪カノ練兵場ヲ陸軍デ拵ヘマシタ、其時ハ日本ノ政府ヨリ直チニ人民ニ代價ヲ與ヘズシテ、之ヲ引上ゲテゴザイマス、サウシテ此土地ハ今日デハ如何ナル處分ヲシテ居ルカト申シマスルト、一十八九年ノ頃ニ此分遣隊ヲ引上ゲルト共ニ、其土地ガ不用ニナリマシタガ故ニ、其後人民ニ下戻スコトヲ所謂村ニ返戻スルトヲ致サズシテ、一個人ニ三十年ノ年限ヲ限ツテ今賃渡シテゴザイマス、是モ人民カラ取戻ノ請求ヲスルコトハ出來ナイ位ナ權利デゴザイマス、ツレカラ丁度二十七八年ノ頃ニ佐敷間切ト云フ所ニバテン港ト云フ、所謂臺灣征伐ノトキニ海軍ノ船ノ集リマシタ場所デゴザイマス、ソコデ火藥庫或ハ何ト申シマスルス様ナモノヲ海軍デ拵ヘテ、此時モ百姓地ヨリ無代價デ澤山ナ地所ヲ引上ゲテゴザイマス、之ヲ以テ見マスレバ村民ニ所有權ノナキト云フコトハ明瞭致シテ居リマスル、故ニ報償金ヲ村ニ取ラシムルト云フコトノ不道理ナル理窟ガ分ツテ來マス譯デゴザイマス、ツレカラ(例ハ宜イ

ダラウ」ト呼フ者アリ(皆サンガ)「ヤリタマヘ」ト呼フ者アリ(御分リニナリマ
スレバ私ハ長ク言フコトハ好ミマセヌカラ(簡短々々)ト呼フ者アリ)成
ルベク簡短ニ言フテ御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス(賛成)ト呼フ者アリ)此
出シマスル所ノ居住人ハ如何ナルモノカト申シマスルト、士族ノ次三男ガ大
概這入込デ居リマス、ウレガ古キ者ハ十數代以前ヨリ年々歳々移住致シ
テ、其村ノ土地ヲ耕シテ者デアツテ、今日ニナツテハ丁度一万足ラズノ人間
ニナツテ居ルカト數ヘラレマス、何セサウ云フコトニナツタカト云ヘバ、沖繩
ノ舊慣ト致シテ士族ハ分家ヲ致セバ——次三男ガ分家ヲ致セバ必ズ士族ト云
フモノニ取立テ、無祿ノ士族ト云フモノニ爲スノデゴザイマス、ウレ故ニ
無祿ノ士族ト云フモノハ何万トナク居ル、澤山ノ士族ガアルト云フ結果ニナツ
テ居リマス、サウシテ其士族ニハ各村落ニ移住スルコトヲ禁ジテアル、併シ
寄留ト云フコトハ許シテゴザイマス、ウレ故ニ其村ノ村民ト共ニ同ジ戸籍ニ
這入ルコトハ出來ヌデ、居住人ト云フ名稱ノ下ニ、所謂寄留人ト云フヤ
ウナモノニナツテ、形造ツテ澤山ノ者ガ移住ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、
且ツ初メ移リマス時分ハ、其村ノ百姓地ト云フ者ハ元來其區域ヲ定メテ村ニ
與ヘマシテ、其與ヘラレタル地所ニ對スルダケノ公租ハ、如何ヤウナル年ニ
モ、如何ヤウナル天災ヲ被ツテモ少モウレ減額スルコトハ許シマセヌデ、即
チ村ニ負擔ヲサセルト云フ慣例デゴザイマス、ウレ故ニ萬一一人間ガ足ラナク
ナツテ、地所ガ明イテ切リテ荒蕪地ガ出來ルトカ何トカシマスルト、其熟
地ノ方ニ段々稅ヲ重ク掛ケナケレバナラヌ結果ニナツテ來ル、ウレ故ニ人ガ
足ラヌデ畑ガ荒レルトキニハ、藩廳ヨリモ心配ヲ致シサウシテ無祿ノ士族
ヲ移サシメテ、土地ヲ施行ヒ或ハ村杯ヨリモ直接ニ當人等ニ相談ヲ致シテ、
其人達ヲ引入レテ村民ニ爲スト云フ有様デゴザイマス、ソコデ此人ハ自分ノ
利益ヲ圖リ自分ノ營業ヲ爲スト共ニ、所謂國ノ經濟ヲ圖ルコトニナツテ居リ
マス結果デゴザイマス、斯様ナル性質ノ土地、斯様ナル性質ノ居住人ト云フ
モノデゴザイマス故ニ、自ラ所謂官地拂下ヲ無代價デ願ツテ、ウレハ是マデ
作リ續イテ來タト云フ有様ノ土地デゴザイマス、斯様ナル緣故ノ深イ土地デ
ゴザイマス故ニ、此居住人ニ向ツテ報償ヲ出サシムルト云フ理窟ガ全クナイ
ト云フ議論デゴザイマス、所ガ政府ノ方デハ如何ナルコトヲ言レマスカト申
シマスルト、是ハドウモ今此改正ヲ致セバ昨年ノ議會デ極々タル所ノ法律案
デアルカラ、直チニ之ヲ改正ヲ致スト云フト、朝令暮改ノ謗ヲ免レヌト云フヤ
ウナ話デゴザイマス、併シ法律ト云フモノハ差支ガアツテ其必要ニ迫ラレタ
日ニハ、何時デモ改正ヲセネバナラヌト云フコトヲ見出シマシテモ、其儘ニシ
テ朝令暮改ノ謗ガアルト云ツテ差支ヘテ居リマスルナラバ、總テノ今日ノ法
律ノ改正案ハ其謗ヲ免レヌコトニナツテ來マス、且ツ又此改正ヲ致シマシタナ
ラバ、又其反對ノ方ノ運動者ガ起ツテ來ルダラウ、大變面倒デアルト云フ話
モゴザイマス、是ハ運動者ハ何ンボ起リマシテモ、正當ナル條理ノアル所
ニ決シサヘ致シマスルト、百ノ運動者デモ万ノ運動者デモ條理サヘゴザイマ

スレバ、少モ面倒ハ見マセヌ譯デゴザイマス、又私ガ探リ得マシタ所ニ依ッ
テ見マスレバ、決シテ反對ノ方ニ強イ運動ガ起ル氣遣ハナイ様子ニ探リ受ケ
マス、ソコラノコトモ決シテ御懸念ニハ及ブマイト考ヘマス、殊ニ此儘ニ致シ
テ置キマスレバ、矢張此士族ノ次三男ノ居住人ト云フ側ノ方ニハ、年々經テ
段々永クナリマスレバ永クナル程、此方ハ非常ニ困窮ヲ致シテ、困窮ヲ致セ
バ致ス程、即チ又法律改正ノ運動ヲ致スト云フコトニナツテ來マスル譯デゴ
ザイマス、是ハ速ニ改正ヲ致シマセヌト甚ダ差支マス、ドウカ諸君モ御賛成
ヲ……

(「贊成」ト呼フ者アリ)

(政府委員大藏書記官若槻禮次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(若槻禮次郎君) 沖繩縣ノ土地整理法ノ改正デゴザイマスガ、一
讀會ノ場合ニ於テモ反對ノコトヲ申上ゲマシタケレドモ、委員會ニ於テ遂ニ
是ガ可決ニナリマシタ以上ハ、尙ホ一應反對ノ理由ヲ簡短ニ申上ゲナケレ
バナラヌト考ヘマス、沖繩縣ノ土地ハ御承知ノ通ニ、此整理法ニ依ツテ處分
セラレマシタノデゴザイマスガ、其中永久ノ浮掛地ハドウ云フモノデアルカ
ト云フコトハ、御承知ニハナツテ居ルカモ知リマセヌカ、一應申上ゲテ置キタ
イト思ヒマスガ、是ハ委員長ノ御話ニナリマシタ通ニ小作地デアル、永代ノ
小作地デアル、斯ウ云フ土地デゴザイマス、名ハ浮掛地ト唱ヘテ居リマスケ
レドモ、小作地デアル、其永代ノ小作地ヲ整理法ノ結果ニ依ツテ、小作人ノ
所有ニ爲シタノデゴザイマス、整理法ノ結果ニ依ツテ——斯ウ云フ土地デゴ
ザイマスカラシテ、今マデハ小作トシテ幾ラカ小作料ヲ納メテ居ッタ者ガ、茲
ニ完全ニ所有權ヲ得タニ附イテハ、其間ニ相當ノ償ヲ爲シタ方ガ相當デア
ル、斯ウ云フノデ、此整理法ノ第二條ニ勅令ニ定ムル所ノ報償——償ヲ爲スコト
ヲ要スル、斯様ニ規定ニナツテ居リマス、其勅令ハドウ云フ規定ニシテアル
カト云ヒマスルト、勅令ニ依ツテ小作料ノ三箇年分ダケヲ拂ヘ、斯ウ云フコ
トニナツテ居リマス、僅ニ小作料ノ三箇年分ダケヲ拂ヘバ、茲ニ永代ニ確定ナ
所有權ガ得ラレルト云フノガ、此土地整理法ノ規定デゴザイマス、其三箇年ノ
小作料モ一度ニ納メルノガ原則デゴザイマスケレドモ、併ナガラ二年ニ割ツテ
納メテモ宜シイトマデ勅令ガ出來テ居リマスカラ、之ヲ出ス人ト云フモノハ
納メルニモ餘程樂デアルシ、總額ヲ一度ニ納メマス者モサ程ナ額デハナイノ
デゴザイマス、永久ニ確定ノ所有權ヲ得ル以上ハ、是ダケノ償ヲ爲スト云フ
コトハ、是ハ相當ナ話デアツテ、ウレガ濟ンデ永代ノ所有權ヲ得タトスレバ、
一方ニ於テハ重大ナル小作權ヲ有ツテ居ッタ人ハ、非常ニ權ヲ害サレルト云
フコトニナリマスカラ、ウレ故ニ土地整理法ノ第二條ニハ矢張其報償ヲ爲ス
ト云フコトニナツテ居リマス、故ニ之ヲ改正スルノ必要ガナイト云フノガ、
第一段ノ理由、第二段ニ於テ申上ゲタイノハ、此整理法ガ出テ茲ニ沖繩縣ノ
土地ト人間ノ關係ガ定ッタノデア
ル、從來小作料ヲ取居ッタ人間、年々小作
料ヲ拂ッタ人間ト間ニ權利義務ノ關係ガ生ズルノデ居ッタ、其權利義務ノ

關係ハ昨年四月一日ニ於テ確定シテ居ルノデゴザイマス、ツレヲ今又一年モ
經タヌ中ニ、更ニ法律ヲ出シテ此確定シタ權利義務ノ關係ヲ變シヤウト云フ
コトハ、是ハ餘リ法律ガ朝發暮改ニナルコトニナルト思ヒマスノデ、斯様ニ
ナリマシテハ沖繩ノ人ガ法律ニ對スル信用マデ影響スルト考ヘマスルカラ、
此段ニ於テモ本案ニ反對ヲ致サヌコトハナリマセヌ、此二ツノ理由ガゴザイ
マスカラ此改正案ハドウカ御否決ニナラヌコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマ
ス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、
議事日程ノ第二十七製鋼事業獎勵ニ關スル建議案議案ノ朗讀ヲ省略致シマ
ス
○恆松隆慶君(百四十三番) ドウカ次ギノ日程ハ直チニ委員ニ御付託ニナラ
ンコトヲ希望シマス
(賛成「ト呼フ者アリ」)

第二十七 製鋼事業獎勵ニ關スル建議案(堀田連太郎君外二名提出)
製鋼事業獎勵ニ關スル建議案

製鋼事業ノ國家經營上ニ至大ノ關係ヲ有スルコト今更喋々ヲ要セサル所ニ
シテ軍備ノ充實諸工業ノ發達皆其ノ原動力ヲ之ニ資ラサルハナシ是歐米各
國ノ相競テ斯業ノ振作ニ努ムル所以ナリ近時我カ邦亦大ニ其ノ必要ヲ認メ
製鐵所設立ノ議ヲ決シテ方ニ著手中ニ在リト雖世ノ進運ハ一官設製鐵所ヲ
以テ満足スルコト能ハス更ニ民業ノ創設ヲ誘起スヘキハ論ヲ踰タサルモ本
業ハ素ト大資本ヲ要シ且其ノ成功ヲ數年ノ後ニ期スヘキモノナレハ我カ邦
ノ經濟事情ニ於テ民業ノ創設ヲ自然ノ發達ニ放任スヘカラサルモノアリ故
ニ政府ハ宜ク民設製鐵所保護獎勵ノ道ヲ講シ速ニ案ヲ具シテ議會ニ提出セ
ムコトヲ望ム

右建議ス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第二十七ニ附イテ提出者ハ格別説明ハアリ
マスカ

○堀田連太郎君(百九十九番) 説明ハアリマスガ、昨日モ辛クテ特別委員
會ニ掛ケズ否決スルト云フノヲ救出シマシタガ、今日モ定足數ヲ殆ド缺ケン
トシテ居リマスカラ、議事ノ進行上説明ヲヨスコトニ致シマシテ、今ノ百四
十三番ニ已ムナク賛成ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 本案ハ今委員付託說ガ出マシタガ、九名ノ特別委員ヲ
議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナレ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ決シマス、定足數ヲ缺イテ居

リマスカラ、今日ハ是ヨリ報告ヲ致シマシテ、其上ニ散會ニ致シマス
(書記朗讀)
貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ
保險業法案
日本動產銀行法案
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

日本綴通業補助ニ關スル建議案
提出者 西原 清東君 堀家 虎造君 出水 彌太郎君
秋岡 義一君 鈴木 總兵衛君 本城 安次郎君
恆松 隆慶君 北田 豐三郎君

鑛業條例中改正法律案
提出者 花井 卓藏君 丸山 嵯峨一郎君 西原 清東君

所得稅法中改正法律案
提出者 西川 宇吉郎君 鈴木 總兵衛君 中村 榮助君
加藤 六藏君 恆松 隆慶君 飯島 正治君

特別委員左ノ通指名セリ
鐵道國有法案外一案
大野 龜三郎君 深尾 龍三君 武富 時敏君
濱口 吉右衛門君 鳩山 和夫君 中村 彌六君
高木 正年君 福田 久松君 工藤 行幹君
並河 理二郎君 板東 勘五郎君 星 亨君
秋岡 義一君 栗原 亮一君 野田 卯太郎君
井手 毛三君 杉田 定一君 重野 謙次郎君

漁業法案
早川 龍介君 大須賀庸之助君 鹽田 忠左衛門君
大村 和吉郎君 宮原 幸三郎君 宮井 茂九郎君
橋元 易君 門馬 尙經君 加藤 六藏君
大津 淳一郎君 林 元俊君 征矢野 半彌君
高津 雅雄君 長坂 重孝君 山本 幸彦君
岩瀬 武司君 林 喬君 永井 嘉六郎君

蠶種検査法改正法律案
降旗 元太郎君 佐藤 清君 寺田 彦太郎君
佐藤 宗彌君 井上 信八君 脇坂 行三君
渡邊 猶人君 戸狩 權之助君 齋藤 安雄君
行政執行法案外一案
原田 赴城君 東 貢三郎君 安川 繁成君
喜多川 孝經君 山田 武君 有村 連君
重岡 薰五郎君 粕屋 義三君 利光 鶴松君

精神病者監護法案

古谷 新作君

秋保 親兼君

丸山 嵯峨一郎君

印紙稅法中改正法律案

多田 通君

今村 千代太君

浦野 錠平君

刑法中改正法律案

內田 雄藏君

安部 井磐根君

武市 庫太君

製鋼事業獎勵ニ關スル建議案

國重 政亮君

堀田 連太郎君

持田 直君

花井 卓藏君

井上 彦左衛門君

持田 直君

星 松三郎君

松島 康作君

横山 通英君

平岡 萬次郎君

後藤 文一郎君

鯉島 相政君

杉下 太郎左衛門君

渡邊 猶人君

下飯坂 權三郎君

大塚 成吉君

齋藤 壽雄君

麻生 太吉君

富田 仙助君

飯島 正治君

西村 淳藏君

望月 長夫君

安藤 龜太郎君

中村 榮助君

伊藤 直純君

井上 角五郎君

山田 順一君

○議長(片岡健吉君) 明日モ午後一時ヨリ開會致シマスルガ、議事日程ハ追ッテ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時三十七分散會